

# 1 議 事 日 程

[令和6年太宰府市議会 決算特別委員会]

令和6年9月12日

午前10時00分

於 全員協議会室

日程第1 認定第1号 令和5年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

## 2 出席委員は次のとおりである（17名）

委員長	陶山良尚	議員	副委員長	神武綾	議員
委員	タコスキッド	議員	委員	馬場礼子	議員
〃	今泉義文	議員	〃	森田正嗣	議員
〃	入江寿	議員	〃	木村彰人	議員
〃	徳永洋介	議員	〃	船越隆之	議員
〃	堺剛	議員	〃	笠利毅	議員
〃	原田久美子	議員	〃	小畠真由美	議員
〃	長谷川公成	議員	〃	橋本健	議員
〃	門田直樹	議員			

## 3 欠席委員は次のとおりである

なし

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（45名）

総務部長 (歳入一体改革担当)	轟 貴之	総務部理事 (総務広報担当)	宮崎 征二
総務部理事 (危機管理・新しい公共担当)	杉山 知大	市民生活部長	佐藤 政吾
健康福祉部長 (子どもまんなか担当)	川谷 豊	健康福祉部理事 (高齢者福祉担当)	大谷 賢治
観光経済部長 (市民と交流人口・関係人口相互関係担当)	友添 浩一	都市整備部長	柴田 義則
都市整備部理事 (公営企業担当)	高原 寿子	教育部長	中山 和彦
教育部理事	八尋 純次	総務課長併 選挙管理委員会事務局長	鳥飼 太
経営企画課長	宮原 竜	総務課和書担当課長兼経営企画課広聴 広報担当課長兼ライブアクション担当課長	平嶋 香代子
文書情報課長	立石 泰隆	管財課長	堀 修一朗
管財課公共施設整備担当課長併 社会教育課教育施設整備担当課長	福田 久博	防災安全課長	糸山 邦明
地域コミュニティ課長	高田 政樹	市民課長	今村 江利子
税務課長	田代 浩	納税課長	松田 勝実
環境課長	大石 敬介	人権政策課長 兼人権センター所長	河野 貴之
国保年金課長	山口 辰男	福祉課長	山崎 崇
生活支援課長	木村 浩一	介護保険課長	柳谷 雅子
高齢者支援課長	大山 清敬	保育児童課長	伊藤 健一
元気づくり課長	高野 浩二	子育て支援課長	竹崎 雄一郎

ごじょう保育所長	江坂美輪	都市計画課長	古賀千年志
建設課長	齋藤実貴男	上下水道課長	大久保信孝
観光推進課長兼 地域活性化複合施設太宰府館長	西山英毅	国際・交流課長	松井百合子
産業振興課長	満崎哲也	社会教育課長	井本正彦
学校教育課長	鍋島順一	文化財課長	井上信正
文化学習課長	堀ノ内龍治	スポーツ課長	橋川史典
監査委員事務局長	添田邦彦		

4 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（5名）

議会事務局長	野寄正博	議事課長	花田敏浩
書記	木村幸代志	書記	陣内成美
書記	三舛貴市		

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の決算特別委員会を再開します。

審査に入ります前に、各委員からの質問及び執行部からの回答や説明につきましては、委員会の効率よい運営のため、簡潔明瞭をお願いします。

なお、審査に当たりましては、事務報告書、施策評価、決算審査及び基金の運用状況審査意見書、決算審査資料等を参照の上、審査をお願いします。

また、委員の皆様におかれましては、質疑については1問ずつ行いたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

直ちに審査に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 認定第1号 令和5年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） 日程第1、認定第1号「令和5年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

お諮りします。

審査の都合上、事項別明細書の歳出から行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 異議なしと認めます。

審査に入ります。

決算書82ページの1款議会費から入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、84、85ページですね。2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 確認です。87ページの一番上の防犯カメラ設置工事につきまして、場所をお教えください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） カメラ新設の場所でよかったですかね。

令和5年度の新設につきましては、佐野近隣公園近くの原口・宮本線の市道歩道上にカメラのほうを設置させていただいておりまして、1か所にカメラを設置させていただいておりません。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 1目ですね。

○委員長（陶山良尚委員） そうです、1目ですね。

○委員（笠利 毅委員） 89ページになりますけれども、表彰事務費のところでは特別旅費と印刷製本費と自動車借上料がどういう際に使われたのかをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） ご説明させていただきます。

まず、特別旅費でございますが、こちらは特別市民栄誉賞を贈呈させていただきました中西先生のための副賞を贈呈するために、職員が赴きまして、植樹をするために赴いたための旅費でございます。

それから、印刷製本費でございますけれども、こちらは表彰の記念品、表彰状等の記念品の購入費でございます。

それから、自動車借上料でございますが、ちょっと少々お待ちください。移動の際に活用しましたレンタカーの費用でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） それぞれ予算書にはなかったように思うんですけども、もしくはすごく金額が少なかったのかな。いつ頃その支出を行うことが決定したのかということをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 表彰の対象者が決まった時点ということで、その時点で予算の確保をさせていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、そこまで記憶してないんですけども、補正で出していたということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） こちらは予算流用で対応させていただいたと記憶しております。

以上でございます。

（笠利 毅委員「もう一ついいですか」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 表彰は、年度当初の段階では誰というふうには決まっていない場合もあるかとは思いますが、臨時の出費もあるかとは思わないわけでもないですけども、一定程度確保していくというようなことは、これまでと違いますか、通常と違いますか、してきたものなのかどうか、ちょっとそこをお聞かせください。

- 委員長（陶山良尚委員） 総務課長。
- 総務課長（鳥飼 太） 表彰に際しては、一定想定して、対象者の基準がございますので、その基準に基づいて一定の想定はさせていただいて、それに基づいて予算組みもさせていただいている状況でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。  
神武副委員長。
- 副委員長（神武 綾委員） すみません、今の関連で。  
今説明の中で予算流用とおっしゃいましたけれども、これ金額が予算からすると30万円ぐらい増えているんですけれども、どこからの流用になっているのかを教えてくださいませんか。
- 委員長（陶山良尚委員） 総務課長。
- 総務課長（鳥飼 太） 流用先でございますか。流用元ですかね。すみません、流用元につきましては、後ほど確認してお答えさせていただきます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、2目文書費について質疑はありませんか。  
笠利委員。
- 委員（笠利 毅委員） 001の情報公開のところですけども、事務報告書の20ページにもあったかな。ちょっとその情報公開の仕組みに関することでお尋ねしたいんですけども、きっかけは兵庫県のことなんですけれども、情報公開は請求者の氏名というのを書くことになろうかと思うんですけども、事務執行上、担当課に請求者の氏名が伝わるような形で行われているのか、それとも請求者の氏名は文書情報課で受け付けるときで、そこでとどまるようになっているのか、ちょっとそこのお聞かせください。
- 委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。
- 文書情報課長（立石泰隆） 申請者の氏名につきましては、担当課のほうにもその原本の写しを配付しておりますので、分かるような形になっております。
- 委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。
- 委員（笠利 毅委員） なぜそういう質問をしたかという理由だけ述べておきますけれども、取材等が入ることもあろうかと思えますし、場合によっては申請者、誰によって請求されたものかということは、公開に当たっては不必要な情報ではないかとも思うので、今でなくていいですけども、法律上の根拠であるとか正当性であるとかというのが何かしら説明できるのであれば、後ほどでもお願いしておきたいと思えます。今できるのであれば、今お願いします。
- 委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。
- 文書情報課長（立石泰隆） 情報公開の申請の手続の流れなんですけれども、申請者から申請があったときは、文書情報課でおっしゃったとおり受け付けております。その後、情報をお持ち

であろうという部署のほうにその情報を通知いたします。その後の対応につきましては、その文書を持っているだろう所管課が請求者と接触して、開示の手続を行っておりますので、お名前等を出さないとご連絡ができないというところを出しております。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 同じところなんですけれども、情報公開の個人情報保護の審査会と審議会の違いを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） まず、審査会のほうなんです、情報公開の開示決定で一部公開、非公開が行われた場合に、審査請求人から審査請求の申立てがあった場合に開催されるのが審査会になります。

審議会につきましては、個人情報保護につきまして今法律になりましたので、過去のような公開する、しないという議論はできませんが、制度のそもそもの市のほうで許容されている範囲の在り方とか、また情報公開の制度の運用、在り方について審議をさせていただいている会議になります。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） その審査委員と審議委員とのあれは、ダブっている人はいるんですか。別々の人ですか。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） 重複してある方はいらっしゃいません。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

それでは、次に行きます。

3目法制費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目広報費について質疑はありませんか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 市政だより費についてちょっと質問させていただきます。

議会だよりと市政だよりが20年間ぐらいもう合併号になりましたけれども、もしこれを今回の決算で単独になった場合、議会との合併号を外した場合の差は幾らぐらいの違いがあるかをちょっと教えていただけませんか。分かる範囲でいいです。

○委員長（陶山良尚委員） 分かりませんかね。

○委員（原田久美子委員） 分からない。また後で聞かせていただきます。いいです。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。はい、分かりました。

ほかにはありませんか。

門田委員。

○委員（門田直樹委員） すみません、002の広聴広報費のホームページサーバー保守委託料です

が、まずこの中にはドメインとかも入っとるのかなということと、それからこのホームページの改善ですたいね。今のが決して悪いというわけじゃなくて、やはり非常に見やすく先進的なところも多々あるので、やはり時代とともに変わるところは変わったほうがいいと思うんだけれども、その辺のいろいろな提案とかなんとか、この同じ業者が担当しているのかと、職員とやり合うのか、ちょっとその辺を聞かせてください。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課秘書担当課長。

○総務課秘書担当課長（平嶋香代子） ドメインに関して詳細は、すみません、また私、調べさせていただいて、後で回答させてください。

（「ホームページの改善」と呼ぶ者あり）

○総務課秘書担当課長（平嶋香代子） ホームページの改善に関しましては、こちらの業者さんと債務負担行為をしておるんですけれども、実際に業者さんとは常日頃から打合せをしながら、そういったことも含まれておる上でのこの保守点検委託料となっております。

（門田直樹委員「分かりました」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 003ですね、予算で市長と語る会というのがあったんですけれども、今回それがなくなっています。いつの時点で方向性を決められたんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課秘書担当課長。

○総務課秘書担当課長（平嶋香代子） コロナ禍に入ってから、実際に令和2年まではそういった市長と語る会を実施した経緯があるんですけれども、その以後、コロナ禍の経緯もあるんですが、やめたことということですね。今回市長と語る会をしなかった理由ということでもいいですか、経緯。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 予算ではそれが入っていたので。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課秘書担当課長。

○総務課秘書担当課長（平嶋香代子） そうです。実際に令和5年5月にコロナが5類に変わって、市のいろいろな行事、地域の夏祭りも含めていろいろな行事が復活をしてきました。そういった点で、皆様と実際に地域に入っていろいろなお声を聞いたり、提言も含めてですけれどもいただくことがどんどん増えてまいりまして、市長と語る会という一つの形ではなくて、いろいろなそういった、意見箱も含めてですけれども、ご提言をいただくという中で、市長と語る会のやり方を今検討も含めて、実際は令和5年度は実施にまではちょっと至らなかったところがございます。よろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今の関連なんですけれども、予算書のメモなどで、曖昧な記憶に基づく

話なんですけれども、予算特別委員会のときに、その市長と語る会について記録をどのように残すようにしていくのかということについて、検討するというような回答があったかと思うんですが、実施されなかったということなんですけれども、市長と語る会をどのように記録に残していくかということについて何らかの進展があったのであれば、聞かせていただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部理事。

○総務部理事（総務広報担当）（宮崎征二） 私のほうからお答えさせていただきます。

市長と語る会、以前に実施していた場合も、全ての全庁舎内部署を含みまして、当然現場にお伺いしているわけですが、様々出たご意見等は十分こちらのほうで蓄積いたしまして、対応できるものを順次対応していくという形を取らせていただいております。

先ほど、昨年度、語る会の実施に至らなかったところですが、状況を申しますと、コロナ禍が明けまして様々な地域行事というのが復活というか、皆さんもご存じのとおりできつつあって、そういう年度でございました。そういった中で、市長、三役、職員が赴く中で、いろいろな団体の方、いろいろな市民の方からご意見をいただく機会も増えてまいりました。そういったご意見は庁舎内で共有いたしまして、広聴といいますか、ご意見を市政に反映していくと、そういった形を現在のところ取らせていただいているという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、その意味するところの確認ですけれども、庁舎内では文書にまとめるなどして共有を図っているけれども、公開を前提とする整理の仕方は現時点ではしていないというふうに考えてよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部理事。

○総務部理事（総務広報担当）（宮崎征二） 市民からのご意見、意見箱であったり市民からいただいた意見を公開している部分もございます、こういったご意見をいただきましたという形ですね。広報等でもお知らせをしている部分もあります。日々いろいろなご要望をいただいておりますので、全部が全部というところではありませんし、ご意見をいただいた方に意見箱なんかは承諾をいただきながら、参考となるご意見ということでご紹介をさせていただいているという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目財産管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページの93ページまで、6目会計管理費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、7目財産管理費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

橋本委員。

○委員(橋本 健委員) 95ページの004庁舎維持管理費1億8,000万円ですかね、これは事務報告書の77ページに明細が載っております。載っておりますが、5つの業者に依頼されている。これは合計金額を足しますと8,415万円になるんですよね。そうすると、ここに計上されている執行の1億……。あ、ごめんなさい。私が間違えました。

委託料を見てください。庁舎設備管理委託料。これが1億1,173万2,676円というふうになっていますが、その77ページの5つの分を足しますと大体8,400万円ぐらいになるんですよ。残が2,750万円ぐらい。これがどこに行ったのか、どこに記載されているのか、それを説明してください。

○委員長(陶山良尚委員) 管財課長。

○管財課長(堀 修一郎) 77ページの事務報告書の金額につきましては、対象を主な委託料ということで1,000万円以上の委託料になっていますので、それ以外の1,000万円以下のものが複数ありますので、その分で、8,000万円以外のものはそれ以外のものになります。

○委員長(陶山良尚委員) 橋本委員。

○委員(橋本 健委員) 多分そうだろうとは予想できましたけれども、これは1,000万円以下の分が記載されないとなると、我々としては何にどう使ったんだろうという疑問が出てくるんですよね。これはやっぱりもう一度考え直したほうがいいんじゃないかなという気がしますけれども、どうでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 経営企画課長。

○経営企画課長(宮原 竜) この件につきましては、一般質問等でもご意見といたしますか、ご質問いただいているところございまして、この件も含めまして、よりよい内容になるように引き続き調査研究を行ってまいろうと思っております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですか。

橋本委員。

○委員(橋本 健委員) ぜひ努力してください。よろしく申し上げます。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) 私も同じところ、庁舎維持管理費の中の光熱水費なんですけれども、使用量が令和3年度と比べても減っていて、この2年間で電気代が、エネルギーが高騰しているということは分かるんですが、ガス代についてはそんなに増えていないということの疑問が1つあるのと、もう一つ、この電気代については、包括的に一応複数の公共施設で入札をかけ

ていただくようお願いをして、それが何年かずっと継続をしていると思っていたんですけども、今の状況を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 電気に関しましては、新電力のほうで入札を、令和4年度までは新電力で行っていたんですが、令和4年度の中途から、新電力については、もう今後入札しても参加しないという意向を示されましたので、その前の入札自体が入札をかけても1社しか応札してないという状況でした。その残った1社さんが今後は入札に参加しないという意向を示されましたので、九州電力のほうに契約を戻しております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） あと、ガス代の件。

○管財課長（堀 修一郎） ガス代につきましては、通常のキッチンのガス代がほとんどですので、あまり増減等はふだんからあっておりません。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ガス代は、エネルギー高騰については、この2年間、影響はあまりなかったという認識ですね。

電気代に関しては、かなりこの2年間で、令和3年度と比べると随分大きくはなっているのは分かるんですが、ということは、今は庁舎は庁舎、もう1つずつの契約を九電とされているというものに戻ったということではないんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 新電力の入札につきましては、いろいろな施設を併せて管財課のほうで一括して入札を行ってまいりました。今回、新電力が不採用になった時点で、各施設が九電と契約を結び直しております。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） では、これからの傾向としては、どう考えても複数箇所と一緒に入札したほうが安く上がる形にはなってくると思うんですが、それが請け負ってくれる会社が今ないというようなことで、しばらくはこの単体ずつの契約になるということの認識でよろしいんです。もうその募集もかけないという形にはなるんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 今後も入札については検討はしていきたいとは思っておりますが、近年、新電力会社が続々と潰れている状況がありましたので、近年では今のところは検討しておりませんでした。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） これだけの電気代の、この2年間でかなりの金額が上がってきていま

すので、やはりその辺の対策は情報をしっかり、近隣市というかいろいろな情報を取って、少しでも安く仕上がっていただくように。前回まではかなりの節約ができていましたので、ちょっと喜んでいたんですけども、高騰とともに、エネルギーの高騰だからこそ、少し節約を考えていくような形で何か対策を打っていただきたいと思います。お願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今のところに関してなんですけれども、予算を立てる予算審査のときに、前年度より大きく金額が上がって、それが新電力の料金体系の変化等が説明されていたかと思うんですけども、それで結果として、予算として3,300万円だったのが今回この決算額なので、随分差が大きいので疑問に思っていたんですけど、今の説明だと、統一して管財課で持っていた契約による金額で予算を立てていたのが、各それぞれの施設で契約することで、ばらばらに決算として出てくるという形になったんでしょうか。ちょっと疑問を持ったものですか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 予算については各施設で計上しておりますので、そこは変わりはありません。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 93ページ、細目001の公共施設整備関係費、それと、これが施策評価の41ページです。施策名としては、26、公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直しのこのシートなんですけれども、中ほどの施策成果指標の達成状況のところをちょっと見ていたんですけども、まずK P Iのほうですが、再編した公共施設の数（累計）、当然再編していませんのでバー表示ですね。令和6年度の目標は3か所となっていますが、バー表示です。次の利用料金の見直しのところが、令和5年度実施と書いてあるんですけども、令和5年度だけじゃなくて、令和2年、令和3年、令和4年も実施と書いてあります。この内容についてご説明いただきたいんです。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課公共施設整備担当課長。

○管財課公共施設整備担当課長（福田久博） 説明させていただきます。

41ページの部分ですが、令和2年度に、下のほうにちょっと書いておりますけれども、史跡水辺公園の料金の改定を行っております、その部分が令和3年度、令和4年度、令和5年度とずっと1件という形で引張ったような形で記載となっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） これが他市との料金の差をこれで解消するという形で、これ市民プールの料金改定を行ったということだと思うんですけど、これ方針のところにも書いてあります。公

共施設の利用料金につきましても、持続可能な運営というところで、これ以前市長が施政方針で述べておられました。公共施設の料金の適正化をプロジェクトチームをつくって諮るところが私記憶しているんですけども、この全体的な公共施設の料金の改定とかにはまだ至ってないというような私は認識なんですけど、そこまではしていませんよね。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課公共施設整備担当課長。

○管財課公共施設整備担当課長（福田久博） 木村委員のおっしゃるとおり、まだそこまでは進んでおりません。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） であると、この利用料金の見直し、実施と書いてあると、もう全て終わったような感じがしましたので、ちょっと確認させていただきました。

次に、アウトプットのほうですけども、そこでこれ、公共施設等総合管理計画の改定版を私も見たんですが、再編する公共施設の選出、これはできていました。一応100%でいいんでしょう。施設の有効活用案の検討、検討されていた。再編施設の方針の決定、これ決定まではなされてないんですけども、これ実績として100%。再編方針を決定したと言い切っているのかという確認です。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課公共施設整備担当課長。

○管財課公共施設整備担当課長（福田久博） 方針の決定の部分については、公共施設等総合管理計画のほうに記載しておりますので、100%という形で書かせていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そうすると、これからずっと各担当課が所管する箱物、いわゆる箱物ですよ、ルミナスとか老人福祉センターの方針をどうするかというところが決まっているということなんで、そこで聞いた場合に、例えば再編するとか、取り壊すとか、建て替えるとか、そういうところまで決定しているという認識なんですけれども、それでよろしいんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課公共施設整備担当課長。

○管財課公共施設整備担当課長（福田久博） そのあたりの具体的な方針についてはまだ決まっておきませんので、今後検討をしていくということをお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） それであれば、この表示が100%だと、もう終わってしまっているということなので、ちょっとこれ表示が曖昧というか、ちょっと気になる場所だとこれは思いますので、検討をお願いします。

最後のところ、見直した施設数が1とありますけれども、これ令和6年度の目標が5施設となっていますね。もう大分厳しい状況なんですけど、この見直しをした施設数、この1の施設

は何でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課公共施設整備担当課長。

○管財課公共施設整備担当課長（福田久博） この部分は、先ほど申しましたとおり史跡水辺公園のということで回答させていただきます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 最後です。これ、公共施設の総合管理計画の改定版を私も見ましたが、決定的にこうするということまでいってないので、この状況じゃあ、これから各施設を再編する具体的な再編には至らないと思っていますので、もう一步進んだ計画をよろしく願いします。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、94ページ、95ページですね、8目契約管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、9目財政調整基金費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、10目人事管理費について質疑はありませんか。これは100、101ページまでですね。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 002人材育成費の13、人事……。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員、マイク。

○委員（馬場礼子委員） すみません。002人材育成費の13の人事評価システム使用料、去年と同様118万8,000円ということですが、リカレント教育などの職員の育成の取組、これは結構重要な、人事評価システムは重要だと思うんですけども、実際にどういことをされて、その効果はどうなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 人事評価に関してですけども、まず当初面談を行いまして、それから中間面談、それから最終面談ということで、各職員に対しましてその年度の目標を立てていただいて人事評価を行っております。その中で、各その年度の目標を設定して、その進捗状況を確認して、それぞれの所属長が面談して、その組織の目標を達成していくということで人事評価制度を行っております。

その人事評価制度を行う上で活用するシステムということで、これは統一的に導入している

職員が使って、機能的に使えるようなシステムということで活用させていただいているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） その効果はどういうふうに分析されていますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 効果でございますけれども、この人事評価制度を導入いたしまして、当初はエクセル表という形で、システムを活用せずに、ルールをつくってそういったエクセル表で行っておったんですけれども、このシステムを活用することで、まず迅速に同じ情報を、面談の中で管理職と職員が同じ情報を共有できたり、それから情報の伝達がスムーズになったりというような効果が出ております。

概要は以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありますか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 職員のこうやって研修もされて、スキルアップしているとは思いますが、昨年と比べてでいいんですが、病気療養中や退職者の数の増減がどうなっているのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 休職者については、令和5年度末で9名ございました。大きくその傾向として、若干増えているというような傾向はございますけれども、大きく急に変わったということはありません。

以上でございます。

（長谷川公成委員「退職者も」と呼ぶ）

○総務課長（鳥飼 太） 退職者につきましては、定年退職もございますけれども、それ以外の普通退職という職員も幾人かおります。例年に比べて何人か増えているというような状況がございます。

（長谷川公成委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 関連してなんですけれども、内部研修の中のメンタルヘルス研修が年に2回、ずっと行われているんですが、この内容。

それから、参加者が職員の数から比べたら、六十何人とかという人数でしたかね。61人ですかね。今、職員のメンタルに対する相談窓口というか相談体制がどうなっているのかというのと、こころの体温計などいろいろなことをスマホを使って導入されたりするところもあるんですけれども、やはりこれから職員のメンタルあつての市民サービスだと思いますけれども、ここを強化されていくとかという考えとかないのか。それも含めてこの研修の内容を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） メンタルヘルス研修を行っておりまして、一定の年代の職員ということで行っておりまして、まず悩みがあれば、周りの職員に相談したり、もちろん総務課に相談したりということで促したり、あとは心の持ちようでありますとかそういったところを専門の先生からお伝えをさせていただいております。

実際、職員からの相談というのは確かにございます。その中で、総務課職員とかでその内容をお聞きしたり、それからそれに基づいて各所属長とかにこちらから相談したりというようなことで対応させていただいているところです。

今後でございますけれども、そういった研修等も含めまして強化をしていく必要があるのではないかとこのように考えておるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 多分これから一番大事になってくる研修だとは思えます。実際問題、やはり自分の気持ちだけではならない自律神経失調症とかというようなことであるとか、それは職員同士の問題の解決にはならないので、恐らくスマホを使ったり、民間企業でしたら産業医がいたり、心理士がいたりとか、きちんと配置がされますので、その辺のことも含めて、この研修も含めてもう少し強化をされたほうが私はいいいと思います。緩急あって、研修の中には時代に合ったものを入れ込んでいかないと、しなやか研修なんかは、悪いけれども、これ十二、三年ずっと同じ研修をされていますね。なので、やはり研修の内容も見直される時期じゃないかなとも思いますので、このこともちょっとお伝えしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 97ページの人材育成費の002ですね、この中でしなやか研修旅費67万8,352円と、同じく99ページの参加負担金の56万1,600円、それとしなやか研修参加負担金というのが44万1,760円上がっていますけれども、どげなふうな研修で、その費用の内訳をちょっと教えていただけますか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） しなやか研修につきましては、業務に関わります外部団体主催の研修、それから調査研究、研修視察など、職員自らが参加を希望する研修に対して、旅費と参加負担金を支出させていただいております。

まず、97ページのしなやか研修の研修旅費は、文字どおり研修に参加するための旅費でございます。

それから、99ページの参加負担金でございますが、これは研修に参加するために必要な、外部団体とか有料の研修とかございますので、その参加するために必要な経費でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） しなやか研修というそのしなやかで、どこからどのような研修なのかなと思って、気になってしょうがないんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 回答要ります。

総務部理事。

○総務部理事（総務広報担当）（宮崎征二） しなやか研修でございますけれども、制度としましては、まず通常の各部署において来年の予算を組むのに、それで見えている、分かっている研修というのは各部署の予算に入れたりしますが、この研修自体は、年度の途中でご案内があったりなども含めて、職員がまず、それぞれの部署が自発的にこの研修を業務上必要で受けてみたいというところの申出がございます。年度初めに募集しまして。その有効性とか必要性を総務課のほうで判断いたしましてこの研修を実施いたしますが、費目が委員おっしゃるように分かっている分に関しましては、旅費というのは通常の電車代であったりとか、宿泊代であったりとか。負担金というのは、いわゆる参加費みたいな形で費用が必要な分に関しては、こちらのほうから出すというふうな分かれ方をしているものでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 99ページの職員採用事務費なんですけれども、決算審査資料は11ページでございますが、令和2年頃から一般事務Aというのが氷河期の方が令和5年までにあるんですけれども、どんどん合格数というのは減っているものの、今後も採用されていられるのか、そこをちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 採用計画でございますけれども、もちろん定年退職等で退職する職員も毎年おりますので、その補充でありますとか、あとは業務関係で人員が必要になれば採用するということで、採用は毎年続いていくというふうに考えております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） すみません、今の関連で、同じ表の中に保育士さんがDとかFとか書いてあるんですけれども、この何か違いがあるのかということと、配属先はごじょう保育所だけになるのか、ほかの関連の子ども支援のところもあるのか、そのところを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 保育士さんにつきましては、保育士として採用させていただいております。試験の違いということでよろしかったですか。すみません、これは年度によって便宜上つけている記号でございます。あと、配属につきましては、ごじょう保育所に配属をさせていただいております。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部理事。

○総務部理事（総務広報担当）（宮崎征二） お尋ねのアルファベットにつきましては、もう便宜上つけている数字のような、あまり意味のない、ちょっと混乱させて申し訳ないんですけども、付番という形になりまして、順番につけているというところでございます。

保育士さんの配属なんですけれども、現在もごじょう保育所に限らず、子育て支援センターをはじめ様々な行政ニーズが新たに発生する場合もございますので、そういったところに適宜配置させていただいているところでございます。今後もそういった形でニーズに応じて配置という形を取りますが、主なものがやはりごじょう保育所になるということは、今後も引き続きかと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 97ページ、002人材育成費のところなんですけれども、これが事務報告書が21ページです。21ページの上の表なんですけれども、人材育成、これキャリア形成としても非常に重要なものだと思っておりますが、これ職員数に比べて、内部研修571、外部研修がこれが111、すごく少ないと思うんですね。内容もバラエティーというか、充実がちょっと足りないのかなという気がする中で、人材育成費の予算が588万3,000円に対して決算が411万9,000円、差引き176万4,000円を不用額にしているんですけれども、これ不用額が結構大きいんですね。これは不用額が出た原因、参加が少なかったのか、もしくは予定していた研修ができなかったのかと思うんですけれども、お答えください。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 当初予算を組む場合、例えばある程度希望を聞いてということもございますけれども、それで枠で取っている部分もございます。結果的に参加者が少なかったとかということで、そういった不用額が出ている状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そしたら関連して、施策評価の13ページです。これも人材育成費の関係のアウトプットのほうを見ているんですけれども、しなやか研修参加者数が、これ目標値としては毎年40名というふうになってはいますが、ずっとこれ20名前後で推移しているのと、その下、自主研修参加数、これ延べ人数、これは令和6年度で300人目標なんですけど、令和5年度時点で57人。ということは、令和5年度は3人ですね。自主研修参加したのが3人ということで、これ、予算がしっかりあるにもかかわらず、ちょっと伸び悩んでいる理由についてはどうでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 具体的な分析までは至っておりませんが、職員にはこういった予算があるということで参加の促しをさせていただいております。業務多忙であったりそうい

ったことで、参加ができなかったというふうな状況ではなかろうかというふうには考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 分かりました。充実した研修で職員のスキルアップを図っていただきたいと思います。

ちょっと関連して、同じく13ページ、職員（幹部職員・管理職員を除く）との意見交換会実施回数、これ毎年6回という形で目標値があるんですけども、令和5年度は3回でしたね。この意見交換会の内容と、どういうメンバーでどういう内容を話しているのかということ、これ6回達成できなかったこの理由についてご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 意見交換会ということで、様々な機会を通じて意見交換をさせていただいております。会議のように何月何日の何時からということでも含め、それ以外に時間を見計らってといたしますか、ある会議の終わった後に、こういった意見交換会というようなことで開催をさせていただいている部分もございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 今の内容なんですけれども、もう少し細かく私のほうから、資料を持っておりましたので説明させていただきますと、こちらは人材育成・登用のところの評価ということで、ここの3のカウントにつきましては、新規採用職員向けの講話、これを限って3ということでカウントさせていただいておりますので、その他の機会というのはもちろんもっとたくさんあるわけでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） その他の機会はいっぱいあるということですね。分かりました。こういう会議、意見交換会は非常に重要だと思うんで、これしっかり取り組んでいただきたいと思います。要望です。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） すみません、今までのをちょっとまとめてという感じになるんですけども、やっぱり先ほどから言っているように、研修に関してはすごく重要かと思っています。先ほど舩越委員がおっしゃったしなやか研修の内容も、私いま一つつかめてないのと、あと小島委員がおっしゃったメンタルヘルス研修というのは本当に重要になってくると思うんですけども、総務課のほうでそういうほかの自治体とか企業とか、そういったいろいろな研修が行われていると思うんですけども、それを主に担当として誰かされるんでしょうか。そして、今の在り方、研修の見直しとか今後の方向性というのはどういうふうにご考えてあるんでしょうか。

か。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部理事。

○総務部理事（総務広報担当）（宮崎征二） 研修全般ということで、ご質問ありがとうございます。

研修、日々というか、トレンドはいろいろ変わってまいりますので、もちろん担当、総務課のほうに研修担当がいて、様々な民間企業さん、そういった有意義な研修を参考にして、時には視察等も行って話を聞きながら取り入れたりしています。

小島委員が言われたメンタルヘルス研修なんですけれども、メンタルヘルス研修は参加人数に職員数との差異があったかと思うんですが、そういったものは例えば課長職であったり、25歳以下であったりとかという年数に応じて、年代をターゲットを絞って今のところやっているところがちょっとございまして、1年間という数字では出ませんが、数年かけてローリングしていきながら、全職員に研修が行き渡るようにというところを考えている部分と、あと最近でいえば、心理士さんをお願いしまして、委託しまして、心の相談ということで毎月相談を開催させていただいたり、産業医さんの面接であったりとか、そういったところも研修プラスアルファで組み込ませていただいている形でございます。

様々な研修、研修の結果等もそれぞれ職員にアンケート等も取っておりますので、今後も有意義な研修を開催できるように努めてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうでしたら、100ページですね。2項企画費、1目企画総務費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 101ページですね。事務報告書が21ページです。ここでいいと思うんですが、これが庁舎の複合機使用状況の資料をいただいているんですけれども、中段から下のほうです。庁舎複合機使用状況で、プリント枚数が令和4年度に比べて57万枚も減っているんですね。すごいこれ、何かしらの取組をされた結果だと思うんですけれども、ペーパーレスとか、各課の紙の帳票を減らしましょうとか。この57万枚減った理由は何でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） 令和5年度におきまして、複合機の入替えをしております。新しい形の機能の機種を入れまして、プリントのプレビュー、複数枚ある場合は1枚目だけなんですけれども、そのプレビュー機能があったりとか、そういった機種を入替えさせていただいている成果かと思っています。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） すごいですね、機械の効果というのは。これでも57万枚なければ、

107万円ですもんね、増えていたという話です。しかしながら、これ、プリント料金が実は上がっていましたよね。結果的にはちょっと上がった形になっているんですけども、そういう形でもよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） プリント料金のほうが上がっているのが、機械の導入台数を増やしておりまして、そこに係るももとの固定経費のほうがどうしても上がってしまいましたので、結果としてこういう形になっております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） まず、ふるさと太宰府応援寄附についてお聞きをします。105ページですかね。事務報告書の21ページで、個人の寄附というのはもう本当に増えているというのはよく数字を見て分かるんですが、この企業版のふるさと納税って、そこまでもう、この2,600万円ぐらいですかね、ここの金額が横ばいだと思うんですけども、ここがもうマックスという感じで考えるのですかね。これどう捉えたらいいのかがちょっと私分からなくて、それをちょっと教えてもらいたい。まずそれをお聞きします。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 企業版ふるさと納税についてのお尋ねですが、ここはどこまでが頭打ちかというのは、なかなか難しい問題ではございまして、恐らく日本全体ではまだ伸びているかと思えます。ただ、太宰府市に大口の寄附をしていただける企業があれば一気に増えますし、そういったところで、太宰府市、私たちだけではなくて、幾つか業者さんのほうにも委託などをしまして、間口を広げて募集しておりますので、今後も増えるように取り組んでいきたいと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 103ページの003まちぐるみ整備班関係費なんですけど、業務内容と、何人ぐらいいらっしゃるのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） まちぐるみ整備班でございまして、令和5年度につきましては3人おります。週5勤務の方が1人と週3勤務の方が2人という内容になっております。

以上でございます。

（長谷川公成委員「ごめん、業務内容を」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 業務内容でございまして、庁内の各課のほうから依頼という形が多いんですけども、軽微な軽作業といいますか、草刈りですとか放置自転車の回収ですとか、そういったさっとやれるようなこと、職員の手が回らない部分を依頼して対応するというふうなことで活動しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 関連ですか。ですね。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 以前、シティプロモーション推進業務の中に、ボールペンだとかグッズとかをよく作られていましたよね。ちょっとこれ、事務報告書にもう入らなくなったのでよく分からないんですけども、この令和5年度の中って、そういうグッズ関係のキャラクターですよね、ステッカーだったりとか縫いぐるみだったりとか、何かそういうものというのはこの中にはもう入ってこないのか、作ってないのか。すみません、ちょっとその辺が私が不明だったので、どうなのかなと思ったんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 令和5年度も作製しております、予算といたしましては105ページになりますが、上から3つ目ぐらいになります。シティプロモーション推進業務委託料、こちらの中でボールペンですとかステッカー、このあたりを作製をさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） その利用の仕方なんですけれども、何かこういうところにはこういうふうに使うとかという、ある程度の何かがあるんですかね。何か私たち、このシティプロモーションの推進の目的というのがよく分からずに、グッズとかの活用の仕方、そこに要するに予算が入っているということは、活用していくという目的があるんですが、その目的自体を少し説明をしていただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） グッズにつきましては、いろいろなイベントでございますとか、あとご訪問を受けたときにお渡ししたりとかということ、またステッカーにつきましては、ご覧になられた委員さんも多いかもしれませんが、市内のサインですね、案内板とかに年末とかに貼らせていただいたりとか、あと公共施設等にも貼らせていただいたりしております。

目的としましては、このキャラクターを通じて太宰府市のPR、シティプロモーションをしていこうという、まさにそのものでございまして、愛着を持っていただくということで、基本的には無償で配布したりということでもさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 予算も少しずつ増えてきていると思います、微妙にですね。何十万円かずつ。これは内容が同じものを作っているのか、何かちょっと増やしたのがあるとか、改善というか、グッズを交換したのがあるとか、中身については同じということですかね、当初から。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 一番よく使っているものはボールペンでございまして、実はこれも少しずつデザインだったり物を変えていっております、毎年度足りない分を補充していくような形を取っております。また、ピンバッジ等も、先ほどは申し上げませんでした、ピンバッジを作製したりとか、あと縫いぐるみを作製したりとか、その年度によって若干、在庫等を見ながら、あと紙袋とか、そのあたりキャラクターが入った、見ながら調整しながら作製しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 関連で。そしたら、関連でいいですか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 予算のときにグッズ販売委託料というのが上がっていたんですけども、今回この決算には上がってないんですが、今の説明でいくと推進業務委託料の中に入って、どちらか販売委託をされているのか、そもそもやらないでいたのか、そのところをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 令和4年度までグッズ販売委託料というのがございましたが、こちらは令和のクリアファイルの件でございまして、在庫が少なくなってきたものですから、令和5年度はもう販売はいたしておりませんので、今回上がってこないような状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 今のクリアファイルは、令和のクリアファイルですか。何枚、まだ残っているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） お見込みのとおりでございまして、令和の際に作りました、ご覧になられた委員さんも多いと思いますが、令和という文字が入ったクリアファイルでございまして、まだ若干在庫はございまして、少し市の行事あたりで使わせてはいただいておりますが、ちょっと販売するには数がというところで、販売は取りやめたような経緯でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 同じ103ページの18節、上のほうです。福岡県自治体情報セキュリティ対策協議会負担金、これは469万円というふうには上がっていますが、負担金にしてはちょっと大きいので、内容を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） こちらのほうは、福岡県の自治体と県と共同して、業務のほうでインターネットとかメールのほうを使います。そちらのほうのセキュリティーを一括して管理し

ている場所の負担金になっております。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） これは福岡県内の60市町村全部ということですか、構成は。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） 一部加盟されてない団体がございますので、ただおよそ50前後の団体が加盟されている協議会になります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 101ページのICT推進費の13、ソフトウェア等ライセンス使用料のところで、当初予算の説明資料のところで、これビジネスチャットサービスを導入するということが上がっていたかと思えます。目的としては、庁内プロジェクトチーム等におけるコミュニケーションの効率化や業務プロセスの見直しなどを図るということですね。組織としてのパフォーマンス向上を取り組むということだったんで、初年度だったかとは思いますが、1年間の効果を実感した具体例のようなものをお尋ねしたいというのが1つと、あと庁内プロジェクトチーム等で活用するということが書かれていたので、現状で稼働している庁内プロジェクトのリストといいますか、数だけでも、一体どれぐらいのプロジェクトチームが動いているのか、ちょっとお尋ねします。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） まず、ビジネスチャットの利用の感想なんですが、利用していただいた職員のほうに感想のほうをアンケートさせていただいて、今おっしゃったプロジェクトチーム、また所属を超えた、課を超えた横の連携ですね、例えば検針業務であったりとか、外で行っているイベントと事務室内の連携で活用をさせていただいて、大変便利だったとかという答えもいただいていますし、同じ組織内であっても、自席を外しているときに例えば来客とか電話があったときに、メモを残す、紙を残しておったところを、今チャットを使って残すことで、連絡をスムーズに取れるようになったというような感想をいただいております。

あと、災害のほうで、本部と現場に出ている職員間での情報のやり取りについても活用させていただいているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

（笠利 毅委員「もう一つ」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 最初の部分、後のプロジェクトチームの。

（笠利 毅委員「どれぐらい稼働しているのか」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） それは回答できます。

経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） ちょっと明確な数でお答えするのは難しいような状況でございます、プロジェクトチームとうたっておりますのが、その時々、いろいろなことに取り組む課を

超えた横の連携のという趣旨でのご説明で書いておりまして、明確に今幾つとかというふうな、随時変わっていくものでございまして、申し訳ありませんが、今幾つ動いてという整理をして、しっかりカウントしているものではございません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） その後半部分に関してなんですけれども、予算説明のときであるとか様々な説明の機会に、プロジェクトチームを組んでとか動かしてということはよく言われることなので、やはり稼働って変ですけれども、組織状態といいますか、それは把握に努めていただかないと、言葉だけで終わっても、チェックも何もできないので、そこは努力していただきたいなと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 回答はいいですね。

門田委員。

○委員（門田直樹委員） すみません、分かる範囲でいいんですけども、先ほど橋本委員が聞かれたこのセキュリティー対策の確かに金額は大きいんですけども、概要でいいけん、要はこれは何かデータセンターがあるのか、そこに今クラウド的な使い方をしているのかとか、このセキュリティーのメインの概要、ここだと、そこにせんと駄目だという点をちょっと聞かせていただきたいし、そもそも、もし話せるなら、この場所が大体どこら辺にあるかも聞きたいんですけども、お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） こちらの情報セキュリティー対策協議会のほうですが、お見込みのとおり、県の共同センターという1か所に外部につながる回線のほうを集中させて、メールとかURL、ホームページとかの閲覧についてのセキュリティー対策を打っている場所になります。

こちらが基本的な職員数とか端末数とかメールアカウント数で基本的な負担金を決められる金額体系と、オプションによって自治体ごとに少しずつ変わってくる料金体系になっております。

場所的には、ちょっと……。

（門田直樹委員「場所はいいです」と呼ぶ）

○文書情報課長（立石泰隆） よろしいですか。

（門田直樹委員「セキュリティーの問題があるから」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

門田委員。

○委員（門田直樹委員） ということで、例えば市といろいろなやり取り、ただメールに文書を添付したりとかのデータの浄化というのはここでやっているのかな。そこだけ聞かせてください。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） ここだけでなく、庁内でも無害化であったりとかセキュリティーは一定させていただいているものの、複数の自治体が一緒にすることで、安価な金額で対応できる、またスムーズに対応できるというところで、こちらの共同センターのほうを利用させていただいている状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ちょっとICT推進費あたりに関する概括的なお尋ねなんですけれども、たしか予算のときに、これらの費用は日々の業務を遂行するための費用だというような説明があったかと思うんですが、令和7年末か何かにガバメントクラウドに上げなきゃいけないとか、そのようなこともあったかと思うんですけれども、市の日常の業務をする上で、来年度ここはこの辺の業務改善に取り組みたいとかというようなのが、昨年の成果を踏まえて現時点であるのであれば、ちょっとお聞かせいただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） 来年度のことでございますので、独自な部分とかというものは、まだ予算組みも行われていませんので、ちょっと返答のほうを控えさせていただきたいんですけれども、先ほど出ましたように、国のほうから令和7年度中に自治体の基幹系業務20業務のシステムを共通化して、ガバメントクラウドのほうに上げましょうということでは言われていますので、こちらのほうについては遅れることなく移行ができるように、業務のほうを進めていくというふうに考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 毎年改善点を見つけていってくださることを期待していますとだけ伝えておきます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 105ページですね、004総合企画推進費の中の13、位置情報データ分析ツール使用料なんですけれども、ごめんなさい、私がちよっと勉強不足なのか、どのシチュエーションというか、どの場面で活用されて、それをどのように使いこなされているんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） こちら、位置情報データ分析ツール使用料でございますが、こちらはスマートフォンをお持ちの方のGPSの情報と各種の公的統計データを組み合わせて、ビッグデータを組み合わせて、いろいろな人の動きを見ることができるといってシステムになっております。これは職員がログインして使うことで様々使っておりまして、例えばイベントを開催した際にどれぐらいの人が来たのかとか、どこから来たのかとか、あと議会前の記者会見等いろいろな市の最近のトピックとか、このあたりについて分析とかを行いまして、公表のほうをさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） さっき関連で言えばよかったですけれども、101ページの001 I C T 推進費の12委託料なんですけれども、これ事務報告書の77ページに内部情報系システム委託料で、この仮想基盤等再構築保守業務委託、この1行だけで日立システムズさんのこの分だけしかも載らなくなったんですけれども、以前まではここが1つのページぐらいたあつと載っていたんですよね。中の細かいところがですね。

それで、まずこの仮想基盤等再構築保守業務というところ自体が、今までもこの文言を見たことがなかったような気がしたんですけれども、ここをちょっと説明していただいていた方がいいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） 仮想基盤といいますのが、職員のほうが使っている端末がシンクライアントの端末でございまして、1つの端末で、職員ごとに権限が変わりますけれども、内部情報のエリアを見たり、住基系、基幹系の個人番号なりの個人情報が入っているところの住基系の基盤を触ったりとかというものを1台の端末でできるような形で画面転送させているシステムになります。

その他の部分については、正直1,000万円という区切りになりましたので、1件だけが上がっておりますが、これまでどおり委託料がかかっている分については、通常どおり執行しているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 105ページ、先ほどシティプロモーションのところグッズ販売のこととかちょっと質問させていただいたんですけれども、当初予算のときに、シティプロモーションの推進で太宰府まるごと大図鑑を作成しますということが上がってまして、これが実際1,000万円ついていたので、この委託料、シティプロモーション推進業務だったと思うんですけれども、この大図鑑の進捗は、実際もう出来上がる方向で行っているのか、進捗をお伺いしたいということと、今上がっているシティプロモーション推進業務委託料216万円、先ほど説明いただいたグッズ関係のものの内容ということでよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（平嶋香代子） こちら、仮称で当初予算説明資料にありますけれども、太宰府まるごと大図鑑、実際にはまだ完成には至っておりません。案の状態ではございますけれども、まだ全く皆様に公表できるような状態ではないというところでございます。

副委員長がおっしゃったとおり、グッズの関係、こちらの内容、委託料の内容、グッズも含めていろいろなこういったシティプロモーション、太宰府の魅力を発信していくのに必要な事業というところで取り組んでいるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 観光文化財融合型ハンドブックを作成するという事で太宰府まると大図鑑（仮称）で上がっていたのが、重点事業に上がっていましたので、令和5年度はまだ案の状態ということですが、いつ頃をめどに完成させる予定で今動いていらっしゃるのか、お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（平嶋香代子） 時期的にはまだ未定でございます。はっきり、すみません、いつというのは、まだここではちょっとお示しができない状況ではございます。全庁的な観光ももちろんですし、文化財、幅広くございますし、それこそ情報発信、日々変化しておりますし、旬なものもいろいろございますので、今実際に案の状態というところで、すみません、いつというのがお示しできなくて大変申し訳ないです。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） このハンドブック自体、当初予算のときには経営企画と観光推進、産業振興、文化財というところで課がまたがって作成するという事になっていましたので、今のお話につながるのかなと思うんですけども、1,000万円をかけて大きく打ち出していたもので、十分検討されて、それはもう早めに作られたほうがいいかなと思いますので、その点お願いしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） ページ数が105ページのふるさと納税関連業務委託料に関連しまして、決算審査資料が13ページです。これは毎年、毎回作っていただいている資料なんですけれども、ふるさと太宰府応援寄附額だけでなく、それに関するお金の出入りがすごく分かりやすい表で、非常にありがたいと思います。

そこで、令和5年度に関してちょっとお伺いしますけれども、これ18億3,800万円の寄附額に対して、歳出のほうのがこれが9億9,400万円、そのうちのふるさと納税関連業務委託料9億7,800万円の内訳をちょっと知りたいんですけれども、これがポータルサイトの委託料と返礼品が含まれていると思いますが、これ、返礼品の3割ルールの話なんですよね。そこで、純粋な委託料と返礼品代を分けた金額をちょっと知りたかったんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 委員ご質問の委託料のうち、返礼品代金につきましては約5億円となっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） もう一つ、5割ルールの関係で、これは令和6年度の予算のときにもちょっとお聞きしたかもしれませんが、これ関係費が5割以下に抑えるというのが、たし

か年度途中あたりから方針が出されたと思うんですが、今回これ、18億円に対してのちょっと5割を超えているんですけども、このときはまだ過渡期というところで、これは問題なかったんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） ご指摘のとおりでございまして、経費の考え方が幾つか国に出す分の含まれるもの、含まれないもの等もございまして。それから、指定期間といいますのが10月から翌年の9月までというふうになっておりまして、このあたりでの算出の方法が異なっておりまして、この期間については5割を切っているというところで指定を受けているような状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） それと関連して、評価シートの35ページです。35ページのK P Iのところにもふるさと納税寄附者数のリピーター数、これ目標値に対しての令和5年度の数字なんですけれども、目標値がはるかに超えた形で、リピーター率としては7.8%でかなり頑張っているんじゃないかなと思うんですけども、若干年々ちょっと増えているようにも思うんですけども、ここら辺の対策は何かしら、対策というか、何かしらのやり方をしていらっしゃるのかと思うんですけども、どうでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） リピーターの確保ということで、非常に重要なところでございまして、まず基本的に、前年度に寄附をいただいた方にはがきを、これはシティプロモーションのはがきという位置づけにしておりますが、はがきをお送りしております。それから、様々メールマガジンですとかそういったものを登録していただいている方にはメールをお送りしましたり、また令和5年度からはポータルサイトによって評価をつけていただく方がいらっしゃいまして、返礼品がよかったとか、太宰府市の対応がよかったとか、そういったところに対して職員のほうが一件一件お礼とか感謝のメッセージとか、太宰府にぜひお越しくささいとか、そういったことをこつこつとやっている関係で、リピーターも増えるように頑張っているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連して、決算審査資料の9ページなんですけれども、これ返礼品の寄附受入額上位10品を今回もいただきましたが、やっぱりこれ、福岡県産品というところがずっと並ぶのはしょうがないと思うんですけども、もしかしたら10番目の和菓子というのが、もしかしたら太宰府の特産品開発したものではないかと思ったんですけども、いかがでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） こちらの資料につきましては、具体的な商品名は掲載しておりませんが、ご指摘のとおり県の共通返礼品と呼ばれるものが多い状況ではございます。これは課題には感じておりますが、この中でもどこの自治体でも取り扱える返礼品ということになります。この中でも競争がありまして、いかにいい返礼品を取りそろえるかというところ、在庫を確保するかというところを含めて頑張っています。

あと、市内の独自の返礼品という、これが一番大事だと思っていますので、「梅」プロジェクト等も頑張っておりますが、引き続きここを拡大していけるように取り組んでいきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。最後。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 103ページです。総合戦略推進委員費用弁償あたりのところなんですけど、これ、決算審査資料は12ページです。戦略的まちづくりの推進というところで、いただいたのがまちづくりビジョン会議の実施状況、あと委員の出席状況なんですけれども、令和5年度、これが会議自体は3回、出席者のほうが非常に出席率が悪くて、第1回が75%、第2回が57%、第3回が55%と、回数もそうなんですけれども、委員の出席数が非常に悪いんですけれども、しかしながらこれ、本市の最上位の会議体というふうに私は認識しているんですけれども、令和5年度、令和6年度に関しては、第3次の総合戦略を検討するというところがあったと思いますけれども、非常にこの出席率が低いんで、この会議体としてしっかり機能しているのかということを確認したいんですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 出席率の関係でございますが、オンラインでご参加いただいたり様々工夫をして、日程調整等もやっているところでございますが、結果としてこのような形にはなっております。

ただ、欠席された委員の方も含めて、内容は事前、事後とも共有させていただきまして、ご意見等はいただくなどの工夫も行っているところでございますので、ご指摘を踏まえて、また今後しっかり取り組んでいきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、ここで11時35分まで休憩いたします。

休憩 午前11時27分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時35分

○委員長（陶山良尚委員） 再開しますが、もう一回確認をさせてください。

ペースが少し遅いというか、非常にあれなんで、各委員からの質問及び執行部からの回答や説明については、委員会の効率よい運営のため、簡潔明瞭に改めてお願いをいたします。

あと、委員の皆様におかれましても、質疑については1問ずつ行いたいと思いますので、その辺徹底をしていただきたいというふうに思っております。よろしく願いをいたします。

(総務課長鳥飼 太「委員長、よろしいですか」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) 総務課長。

○総務課長(鳥飼 太) 申し訳ありません。先ほど神武副委員長さんから予算流用の件で、89ページの特別旅費等の流用の流用元がどこからかということでお尋ねがありました。流用元につきましては、97ページの下のほうにあるんですけども、細目番号002人材育成費の研修旅費、こちらから流用させていただいております。こちらはコロナ禍で、大野城研修所等での宿泊の予算で確保していた予算でしたが、それがコロナ禍で減ったということで、こちらから流用させていただいております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですか。

総務課秘書担当課長。

○総務課秘書担当課長(平嶋香代子) 91ページになりますけれども、門田委員からご質問をお受けいたしました002広聴広報費のホームページサーバー保守委託料、ドメインのセキュリティーも含めて仕様を確認いたしまして、ちゃんと含まれておりましたので、ここでご報告させていただきます。

○委員長(陶山良尚委員) それでは、104ページ、105ページですね、2目公文書館費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、106ページ、107ページですね、3目交流費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、108、109ページですね、4目男女共同参画推進費について質疑はありませんか。

馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) 女性に対する暴力相談委託料なんですが、こちら審査資料で14ページにいただいているんですけども、この審査資料に載っていないちくし女性ホットライン、これに関しての相談件数を教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 人権政策課長。

○人権政策課長(河野貴之) こちらでございますが、事務報告書の23ページの詳細で、ちくし女性ホットラインにつきましては、太宰府市分の相談件数は19件でございます。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) 馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) 見落としていました。すみません、ありがとうございます。

このちくし女性ホットラインなんですけれども、うちの女性相談窓口にいらっしゃった方からお渡ししている方とか、直接行っている方とか、それ合わせての件数ですか。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 件数につきましては、委員お尋ねのとおり、まずちくし女性ホットラインに相談があつて、太宰府市に直接つなぐ必要があるということでちくし女性ホットラインのほうで判断をされまして、つないだ件数も含まれております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） すみません、109ページの001、07報償費の手話通訳謝礼なんですけれども、このところだけに限ったことじゃないかもしれないですけれども、今後謝礼を市独自で上げていくような検討があるかどうか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 手話通訳謝礼につきましては、太宰府手話の会のほうに主に委託をしておりますので、またこちらと協議を行ってまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） ページ数は109ページの男女共同参画推進センター管理運営費についてお伺いします。

これは前回も、建物自体が老朽化しており、なかなかこの修繕あたりで難儀しているというようなお話があつたと思いますけれども、先ほどの公共施設の再編の関係なんですけど、そもそもこの建物の修繕というか再編みたいなことを、担当課のほうで何かしら経営企画課のほうと打ち合わせたことはありますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） こちらは委員お尋ねのとおり、改修事業調書ということで担当課のほうには随時年次ごとに提出して協議をいたしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかには。よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、次に、5目地域づくり推進費について質疑はありませんか。112ページですね。

よろしいですね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 決算審査資料が15ページ、予算書が111ページです。これがコミュニテ

ィバス運行補助金に関してお伺いしたいんですが、今回決算審査資料のほうは、これが平均乗車密度がつけられないということであまり残念だったんですけども、これ1便当たりの利用者数だけでも見ても、都府楼回りが1便当たり1.4人とか、それとか地域線に至っては全てが一桁で、連歌屋地域線が1.6人という非常に厳しい数字、この1便当たりの人数を見てもかなり厳しいんですけども、これについて、今回令和6年度の補正予算でもデマンド交通の実証実験という話もありますので、この厳しい路線について、何かしらこれ改善しなきゃいけないというような議論とかは始まってないんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（高田政樹） この今回の1便当たりの利用者については、まほろば号の乗車数としては、昨年度と比較して4万5,000人増えて、コロナ禍前の9割程度には戻っておりますが、路線ごとの状況を見ると、かなり厳しい路線もございます。地域線に関しても、地元の要望があるにしても、かなり路線ごとの状況が厳しい状況もございますので、まず市全体の地域公共交通の在り方を検討しながら、まほろば号、地域線、あとその他の交通網といろいろありますので、そのあたり全体を見ながら総合的に見直すべきかというふうに検討しているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） これが事務報告書の23ページのコミュニティバス運行補助金の中で、下ですね、コミュニティバス運行支援金のほうなんですけれども、これ地域線については運行経費から運賃収入を差引いたところで、その差額が補助金額になると思うんですが、この運行支援金というのが、これ2社のタクシー会社に支払われている300万円なんですけれども、それ以上に運行支援をするというようなこの考えについて、ちょっと改めてお伺いしたいんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（高田政樹） 運行支援金については、コロナ禍におけるバス利用者が減少する中の運行事業者に対する支援金ということで、今回は合計で300万円、西鉄に対して294万円と太宰府タクシーに対して6万円ということになっておりますけれども、そのあたりの支援ということですね。運賃の改定もそうなんですけれども、全体的に市の補助金、あと運賃の改定、それぞれ総合的に見直さないといけない時期に来ていると思いますので、先ほどの繰り返しになりますが、それぞれの市全体の地域公共交通の在り方を総合的に見直すという時期に来ているかと思います。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 111ページ、市民政庁まつり関係費なんですけれども、いいですよ

ね。

○委員長（陶山良尚委員） 大丈夫です。

○副委員長（神武 綾委員） 004市民政庁まつり関係費、補助金400万円なんですけれども、これ  
変わりなく毎年このぐらいの金額でというところなんですけれども、この運営金について、自  
治会からの協賛金を実行委員会さんのほうが集められていると思うんですけれども、それを  
私、あまり認識をしてなくて、この頃ちょっと気づいたんですけれども、金額的にはどのくら  
い集められているかというのは分かりますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（高田政樹） 実行委員会の予算になりますので、詳細まではまだあれで  
すけれども、令和5年度については、協賛金は集めずに実施をしております。令和6年度につ  
いては、運営資金についてなかなか厳しいものがあるという実行委員会のご意見もございまし  
て、令和6年度については集めようということで、また今回、自治会が会長をしという輪番制  
もございまして、自治会のほうでもそのようなご意見をいただきまして、自治会からそれぞ  
れの人口に応じた協賛金というのを工面していただいているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 市からの補助金と自治会の会費の中から出されるということになる  
ので、実際に政庁まつりを運営するのであれば、運営自体が厳しい財政であれば、もう少しこ  
の見直しも必要なのかなというふうに思いましたので、ちょっとお聞きしました。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいでしょうか、ほかには。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 113ページ、一番上の路線バス運行維持補助金、これ太宰府・宇美線だ  
と思うんですが、予算額が400万円に対して決算額が210万8,000円という形で、不用額が189万  
2,000円。ちょっと大きいんですけども、しかしながらこれ令和6年度も400万円上がってい  
まして、令和5年度が何か特別な事情があったのか、確認をしたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（高田政樹） 令和5年度の400万円については、西鉄のほうの見積りが  
ベースになっておりまして、結果として精算の結果、予定よりも運行収入があったとかそうい  
うところも含めて今回の決算額になっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 分かりました。

そしたらこれ、令和6年度も400万円上がっているんですけれども、400万円、これはちょっ  
と余裕を見たというような感じに受け取ってよろしいんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（高田政樹） 令和6年度についても、基本的には西鉄のほうの見積りがベースになっておりまして、このような予算額を組ませていただいたということでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 細目003地域コミュニティ推進費の中の高齢者向けのスマートフォン講座、これは何回行われて、何人ぐらいの方が参加をされているのか。

それともう一つ……。

○委員長（陶山良尚委員） 一問一答で、いいですか、1回切って。

○委員（小島真由美委員） それでお願いします。同じ細目でも。

○委員長（陶山良尚委員） 項目が違うかったら、一つ一つ。

地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（高田政樹） スマホ講座でございますが、市の予算といたしましては、桜町区、東ヶ丘区にそれぞれ教室をしております、各回ごと3回のシリーズになっておりまして、それぞれ延べの参加者が桜町区が33人、東ヶ丘が30人ということで、合計延べ63人の方に受講していただきました。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） これは、一問一答でしたっけ。

○委員長（陶山良尚委員） 続けていいですよ。1つの質問に対して1つの回答という形でそれぞれ分けて、回答のほうがなかなかあれなんで。

○委員（小島真由美委員） 分かりました。いいです。

太宰府市の市民活動災害保障保険で事故報告が9件あるんですが、この9件、どういう事故だったのか教えていただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（高田政樹） 件数としては9件ございまして、スポーツ活動が5件、自治会活動が3件、ボランティア活動が1件というふうになっておりまして、補償の内容は傷害で骨折やけがというふうな内容になってございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。高齢者の転倒とか、そういったことにもつながっているんでしょうかね。大事なかったらそれでいいんですけども、その辺はそんなに心配するような事案では9件もないということではよかったですか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（高田政樹） 報告書が最後に出てきまして、治療が終わってからの報告書ということになりますので、完治したものというふうはこちらとしては考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、112ページですね、3項徴税费、1目税務総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目賦課徴収費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、4項戸籍住民基本台帳費の1目戸籍住民基本台帳費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） では、118ページですね、2目住居表示費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5項選挙費、1目選挙管理委員会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目選挙常時啓発費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、120ページですね、3目県知事及び県議会議員一般選挙費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6項統計調査費、次のページですね、1目統計調査総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それじゃあ、2目基幹統計調査費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、7項監査委員費、1目監査委員費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、124ページですね、民生費に入ります。

1項社会福祉費、1目社会福祉総務費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、ずっと行きますと130ページですね、131ページ、2目老人福祉費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長(神武 綾委員) 133ページ、009老人憩いの場整備事業費なんですけれども、老人憩いの場整備補助金が19万6,152円になっていますけれども、これの工事内容を教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(大山清敬) お答えいたします。

工事内容は2件ございまして、1件目が窓の交換及び格子の取付け、もう一件が空調機の交換でございます。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 神武副委員長。

○副委員長(神武 綾委員) すみません、それはどちらの憩いの場になりますでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(大山清敬) 失礼しました。窓の交換及び格子の取付けが通古賀区、空調機の交換が松川区でございます。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですか。

神武副委員長。

○副委員長(神武 綾委員) すみません、憩いの場は市内何か所あるのか、確認させていただきます。

○委員長(陶山良尚委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(大山清敬) 今現在、21か所に設置しております。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

徳永委員。

○委員(徳永洋介委員) すみません、133ページですね、011高齢者物価高騰緊急支援給付事業費。要望なんですけれども、結局、地域商品券ってコンビニが使えない。今の高齢者の方は結構コンビニを使われる方がいらっしゃるの、できればもうちょっと使いやすいように。かなり使いにくかったということを知っていますので、要望なんですけれども、よろしくお願ひします。

○委員長(陶山良尚委員) 若干決算と違うような形で、一応要望ということでよろしいですかね。

ほかにありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 今回の関連ですけれども、物価高騰の給付金ですね。

○委員長（陶山良尚委員） 011ですかね。

○副委員長（神武 綾委員） 徳永委員の関連ですけれども、8,640世帯というふうに事務報告書はありましたけれども、これ給付率は100%ということではなかったでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） 給付率につきましては99.86%となっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） これ100%にならない理由は何かありますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） 12件が、ご辞退であったりそういったことで商品の受け取りができておりません。辞退、拒否であったり、長期入院、あと空き家であったり、そういった案件が12件ございました。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 131ページ、細目002の在宅老人福祉費の中の介護予防・生活支援活動団体補助金なんですけど、これが事務報告書29ページの下のほうです。そこで介護予防・生きがい活動支援事業、これかと思うんですけど、これ補助金額が94万4,000円に対して、予算が176万4,000円ですので、約半分。これ不用額が82万円ほど出ているんですけども、これ自体が非常に重要な活動、事業だと思うんですけど、これ、執行が半分しかいかなかった主な理由は何でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） ご説明いたします。

予算編成当時、この20団体ということで申請があるものと見込んでおりましたが、実際には11団体の申請にとどまっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 残りの9団体については、何かしら事情があって、もしくはあまりこの重要性とかニーズがなかったということなんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） この補助金につきましては、介護保険の特別会計にも同じような補助金がございます、活動日数の違いによって一般会計と特別会計で分かれております。今

現在、特別会計のほうに、より活発に活動していただくために特別会計のほうに移行している段階でございますので、今まで一般会計でされてあったところが、実は特別会計のほうに移行されておる状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく131ページの細目は004の敬老事業関係費のところなんですけど、事務報告書が30ページです。その上のほうですね、敬老会費のほうなんですけれども、これが2,355万5,000円。これの、要はこれ、私も自治会あたりから、前の使い方と大分変わってきたというふうな話を聞いておまして、前だったら自治会で敬老会を催してという、来てもらうという形だったんですけども、最近はまだ半分しか来ない。もしくは、もう来てもらうのをやめて、何かしらの金券を配ろうかというところがちらほら出てきている中で、そういう情報、何かこの敬老会に関する在り方について、何か自治会からの要望とかそういう情報があれば、教えていただきたいんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） この分につきましては、令和2年度、令和3年度、令和4年度、新型コロナウイルスの関係で、今までは一堂に会しての敬老会を実施しておりましたけれども、そういった事情で記念品を配るといふことの別のやり方というのでも検討されて、一堂に会しての敬老事業、また商品券をお配りするということで、いずれにしろ敬老事業に関する事業であれば、2,500円ですね、1人当たり、77歳以上の方に交付をしている状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連して、事務報告書の同じく30ページの今お伺いしました敬老会費の下なんですけれども、老人クラブ関係費のところでは老人クラブ補助金、これもちょっと以前お話ししましたが、これ22クラブありまして、それに対して119万5,450円と。22で割りますと1団体当たり5万4,000円、非常に少ないんですけども、ここら辺、各老人クラブのほうから増額の要望とか、そういうお話は上がってないのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） 令和4年度までにつきましては、一律5万1,840円ということで交付させていただいていたんですが、自治会によっては人数の多い少ないというのがございまして、そこで不公平という声もちょっとございましたので、令和5年度から会員数に応じて段階的に5,000円ずつアップするというで補助金のほうを改定しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 聞き漏れたかもしれません。131ページの001、老人福祉センターの管理運営費の中の施設改修工事というのは、もう相当な古さのこの施設なんですけれども、去年、その前が約500万円かけて老人クラブの連合会のお部屋をつくられて、この稼働状況であるとか、鍵は会長さんがお持ちということでしたけれども、何回ぐらい使われているのかの把握がここの指定管理ができていますかどうか。それと、この今回の改修工事については、どこかの改修になったのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） まず、長寿クラブさんの利用状況でございますが、今までは三役会といたしまして、会長をはじめ役員の方が定期的にお集まりいただいて会議をする場というのが、前の広さの事務所ではちょっと難しかったので、老人福祉センターのお部屋をお借りして実施されておりましたが、今回拡張工事をしたことによって、そういった会議のほうを定期的に太寿連さんの事務所のほうで行うことができております。

もう一つ、工事の内容でございますが、今申しました太寿連事務所の拡張工事と、もう一つ、センサーの増設工事ですね、そういったものがございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） これは無償提供という形で、利用料は発生はしないということですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） 利用料はいただいておりません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、134、135ページですね、3目障がい者対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目障がい者自立支援費について質疑はありませんか。141ページまでですね。

よろしいですかね。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 4目は入りましたですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 4目はもう終わりましたけれども、いいですよ。今ですね、4目は。すみません。

○委員（小島真由美委員） 3款1項4目、004ですね、障がい児通所支援給付関係費はよかったですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 大丈夫ですよ。140ページですね。大丈夫です。

○委員（小島真由美委員） 放課後等デイサービスの対象者の延べ人数が、これが2年間で2,300人増えているんですね、ちょっと調べましたら。かなりやはり増えている状況があるんですけども、かといって、これは対応していかないといけないということなんだろうけれども、この状況と、それから障がい児の相談支援というところが、これも2年間ぐらいで、令和3年度が841人ぐらいだったから、今が1,445人ということで相談自体も増えているんですけども、ここの発達障がいというか、ここに対する何か、放課後等デイサービスを増やすだけではなくて、何か考えられるようなことというのはあるんでしょうかね。あるんでしょうかねって、質問が今ちょっと。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） おっしゃられますように、障がい児のサービスを受けられているお子様の数が増えております。これは障がいあるいは障がい者に対する理解が広がったということ、適正なサービスを受けやすくなってきたということもあろうかと思えます。

市としましては、できるだけ地域で必要なサービスを受けていただくに当たって、その量が不足していないか、あるいは公費におけるサービスであることから、必要以上に過大なものとなっていないか、本人やプランを考える相談支援事業所から聞き取りを行いまして、そういった時間をできるだけ割くように努めているところです。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） やはり2年間で2,300人の増員というか増加というのは、かなり市も取り組んで考えないといけない内容だとは思いますが、心配しているのは、親御さんたちの家での対応を困っていらっしゃるとか、少し講座を増やすとか、何か専門的な見地からの講座をたくさんとか、講演会とか、そういったことを市が先導して、オープンでいろいろなことを取り組んでいって初めてこのデイサービスが生きてくるんじゃないかとも思うので、デイサービスだけの療育ではやはりちょっと行き詰まってくるのかなという人数なので、親御さんたちへの支援として、相談体制だけではなくて、そういった療育講座というものを、これはきらきらとタイアップして、本当は職員さんたちのスキルアップも含めてしていかないといけないと思うので、横断的に、ここの部分を見ると非常に心配しているので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 今の関連で、障がい児通所支援事業の放課後等デイサービス、今小島委員が言われた6,500人の利用者がいるということなんですけれども、予算的にも当初予算から1億5,000万円ぐらい増えているという状況になってきている中で、この利用児童と親御さんの中で、いろいろなお話を聞きながら、少し今後人数を精査していくみたいなお話が以前あっていただけども、放課後デイサービス、事業所を使うのではなくて、学校にある学童を使うということも、利用できるということもあるのかなというふうに思うんですけど

も、そこら辺、放課後デイを使っていたけれども、学童に移行したとか変えたとか、何かそういう事例は実際あるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 障がいを持つお子様も学童をご利用されることについては全然問題ないんですけども、どちらかというよりはやはり専門的な知識、経験を持つ放課後等デイサービスのほうをご利用されるといった傾向があるかと思います。放課後デイの利用と学童を並行してお使いになってある方もいらっしゃるかとは思いますが。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 139ページの委託料のところですね。福祉タクシー運営委託料で、事務報告書が31ページですね。障がい者地域生活支援関係費の(7)の福祉タクシー券交付数というところで、これはタクシーに乗ったときに、どうなんですかね。最初からもう障がいをお持ちの方に交付して、それでタクシーを利用してください、福祉タクシーを利用してくださいというのかなのか、それとも利用した後にその金額を差し引いて渡すというか、返金するか、そういう形なのか、ちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 年度4月以降にタクシー券というものを、令和5年におきましては60枚の交付券を窓口で申請があった方に交付をさせていただいております。実際にタクシーをお使いになられたときに、その券を1枚破って事業者様にお渡しして、その分の金額を引いた上でタクシーをご利用されるということになります。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） そのタクシーチケットで支払うときに、例えば障害者手帳を見せないといけないとか、そういった決まり事はあるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 手帳を掲示する必要はございません。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） じゃあ、例えばご家族の方で買物に行くときにそれを利用するということは絶対しちゃ駄目だというルールがあるんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） もちろんご本人様のご利用ということで交付させていただいておりますので、ご本人様のご利用をいただいているものと認識しております。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） だから、ひょっとしたらご家族の方も利用している可能性もあるということ、まあまあそこら辺はなかなか調査するのは難しいでしょうけれども、やっぱり念を

押しとかないと。よろしくをお願いします。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 同じページの12節委託料で日中一時支援事業委託料、これ内容を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 日中一時支援事業につきましては、日中の障がいのある方の居場所であったりとか、憩いの場であったりというところで、そういう事業をしていただいております事業者様があります。そちらのほうに市のほうと委託契約をしております、ご利用様がそちらの事業所をお使いになりまして、昼間の時間帯をご利用されたものにつきまして委託料をお支払いさせていただいているものです。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） その事業所というのは何か所あるんでしょう。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 今のところ市で契約している事業所が21事業所ございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、事務報告書の30ページの障がい者自立支援給付事業費の中の障害者手帳をお持ちの方なんですけれども、この交付登録数が、精神障害者保健福祉手帳もこれ2年間ぐらいで200件ぐらい増えているんです。これ、今回新規が書いてないんで分からないんで聞くんですが、新規では何件なんですかね、この809件の中から。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 申し訳ありません。今ちょっと新規の数を持ち合わせておりませんで分からないんですけれども、確かに新規の方も増えていっている傾向です。

（小島真由美委員「ですよね。分かりました。後でじゃあすみません」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に行きます。

5目 援護関係費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目 重度障がい者医療対策費について質疑はありませんか。

（船越隆之委員「委員長」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） どこ。どこですかね。

（船越隆之委員「重度障がい者」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 141ページの001重度障がい者の医療費支給関係費なんですが、その19節の扶助費、この重度障がい者医療費の1億2,414万7,000円ぐらいですが、これ令和4年度から比べると、大体600万円ぐらい上がってるわけですよ。この600万円の上だった様子というのはどういう様子やったんでしょうか、教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） お答えいたします。

この600万円強の増につきましては、事務報告書の31ページをご参照いただけると説明が分かりやすいと思いますが、前年度と比較して受給者数は減となっております。ただ、令和4年度と令和5年度の中の中段の表でございますが、件数が伸びておりまして、この件数が伸びた要因の一つとしては、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類になったことによって、受診の回数が増えてきたのではないかと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 要因としては、コロナの関係というだけですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） 今まで若干の受診控えがあったものが、少し増えてきて元に戻ってきているのではないかというふうに推察しております。

以上でございます。

（船越隆之委員「ありがとうございました」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、7目ひとり親家庭等医療対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、8目後期高齢者医療費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、ここで13時まで休憩いたします。

休憩 午後0時15分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後1時00分

○委員長（陶山良尚委員） 再開いたします。

福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 先ほど小島委員からご質問のありました件についてご回答させていただきます。

事務報告書の30ページですけれども、一番下の枠の障がい者自立支援給付事業費の1、障害者手帳の(3)精神障害者保健福祉手帳ですけれども、809件のうち新規の方が121件となっております。

ります。

以上でございます。

(小島真由美委員「ありがとうございます」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、9目国民年金費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、10目人権政策費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長(神武 綾委員) 145ページ、003地域対策費、扶助費の老人医療費と介護サービス費

なんですけれども、決算額で介護サービス費がゼロになっていますけれども、予算立てからこのゼロになった経過を教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 人権政策課長。

○人権政策課長(河野貴之) 予算としては計上しておりますが、支給の申請がなかったということでございます。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、144、145ページ、11目人権センター費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長(神武 綾委員) 145ページ、001南隣保館管理運営費に関連して、事務報告書の34ページ

の下の管理運営費の中に隣保館利用状況表がありまして、事業名、利用者、対象者というふうに書いてあるんですけども、利用者がゼロの事業が支部役員会・認定委員会、それから支部集会在ゼロ、その下、別表として事業名が幾つか並んでいますけれども、その中で参加者ゼロがカラオケ教室、それから介護相談というふうになっていますけれども、これゼロだったことについて説明をお願いいただけますか。

○委員長(陶山良尚委員) 人権政策課長。

○人権政策課長(河野貴之) この支部関係については、また後ほどお答えをいたします。

カラオケにつきましては、以前はあっておりましたが、どうしても建物が古くて周りに音が漏れるとか、あとコロナの関係で行っていないということになっております。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) 介護相談ゼロについては、後ほどか、後ほどでしたっけ。

○人権政策課長(河野貴之) こちらも後ほどお答えさせていただきます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 次に、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費について質疑はありませんか。

んか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目児童措置費について質疑はありませんか。150、151ページまでですね。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3目教育・保育施設費について質疑はありませんか。木村委員。

○委員(木村彰人委員) 157ページの上段です。これが細目004の12節の病児保育事業委託料についてお伺いします。これが事務報告書のほうが37ページの上段です。これが延べ利用人数のほうで、これ556人なんですけれども、令和4年度が241人で、315人も増えているんですね。それで、恐らくコロナの関係もあるかと思うんですけれども、コロナが明けたというところで、この人数が増えているんですが、今の病児保育は2か所でやっていると思いますが、この延べ人数、これ対象者が増えている、利用者が増えているんですけれども、2か所で特に問題はなかったのか、お伺いします。

○委員長(陶山良尚委員) 保育児童課長。

○保育児童課長(伊藤健一) まず、病児保育事業の利用者が前年と比較してかなり増えたというのは、実は令和5年度から利用料を県のほうが無償化するということになったんですよ。1回2,000円というのを無償化、市のほうが払って、それを補填されるという感じなんですけれども、そのようなことが少なからず影響しているかと思っております。

それと、2か所で定員が4名ずつで8名ということになっておりますが、現在のところ支障はないものと考えております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 木村委員。

○委員(木村彰人委員) 関連して、実はこれ、令和6年度の予算には病児保育広域利用負担金というのが250万円上がっていると思います。ちょっと使い方が変わってきたのかなという気がするんですけれども、それもちょっと改めてご説明いただければと思います。

○委員長(陶山良尚委員) 保育児童課長。

○保育児童課長(伊藤健一) こちらは委託料が病児保育の委託料があるんですけれども、こちらについて国、県の補助金があります。それで市の負担という分があるんですけれども、病児保育は太宰府市民が太宰府市内の施設を利用するだけではないんですよ。市民が外を利用する場合もあれば、市外の方が太宰府市を利用する方も。それを割合に応じてそれぞれの市負担分を案分して負担金として支払おう、逆にいただくというようなことになっております。これが令和5年度の分を令和6年度に精算ということになっておりますので、令和6年度予算に計上させていただいたということでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 155ページの003教育・保育施設費の18、保育所等におけるICT化推進で、去年よりも随分決算が少なくなっていますけれども、これは進捗としてほぼほぼIT導入がもう完了したというところ、行き渡っているというところでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） おっしゃるとおりで、大分ICTを導入させていただきました。令和5年度の実績では2園ですね。私立が2園と、ごじょう保育所もさせていただきました。令和6年度に若干あるんですけども、それでほぼ完了と言ったら変ですけども、導入は一定、一通り済むというような形になっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。

多分、去年お話しいただいたのかもしれませんが、その具体的な活用ってどんなものだったでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 登園管理とか一斉アナウンスもできますし、逆に踏み込んだところでは保育園の日報とか、そういったことも記録とかもパソコン上でできるようになるということで、かなり保育士の負担軽減にはつながるものと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 157ページ、005保育施設運営支援費の18の中の3番目、待機児童支援補助金が12万8,700円あるんですけども、これは保育園入所が待機になったときに、届出保育所を利用する場合の保育料の補填をするという制度だったと思うんですけども、これが施策評価のシートの42ページのところに、これ補助金改革のところなんですけど、現状把握の(3)の令和5年度の主な事業・取組の中に、この待機児童支援補助金のことが書いてあるんですけど、待機児童ゼロを達成している状況において、令和5年度をもって廃止したというふうにありますけれども、これはもう令和5年度で事業を終わるということよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） おっしゃるとおり、この待機児童支援補助金につきましては、希望する保育所に入れずにやむなくといいますか、届出保育所に通う児童の保護者を対象としまして、届出保育所の保育料から認可保育所に入った場合の保育料の差額の2分の1、上限があるんですけども、そちらを補助するものでございます。

ただ、この補助金制度につきましては、令和3年度にコロナ交付金を財源にスタートしたものでございますが、ご存じのとおり調査上の待機児童もゼロとなりました。また、令和5年度の受給者は4人ございまして、その中には令和6年度に3歳以上となり無償化の対象となる方や、認可保育所の入所を辞退された方、こういった方も存在されます。こういったことで対象者が大きく減少したこともありまして、スタートから3年を経過して、総合的に判断して廃止するというふうなことにしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目学童保育所費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 157ページです。事務報告書が37ページ。ここに学童保育所管理運営費というところで、学童保育所入所者の児童数の一覧表があるんですけども、その定員と平均人員というところで、まず見ていくと、太宰府東小の第一、第二学童がもう定員をちょっと超えているような形になっています。もう一つ、水城の第一、第二、第三、こちらのほうも増えていまして、特にこちらのほうは水城小学校が新築、増築したということで、ある程度は小学校教育施設としては大丈夫なんですけど、この学童のほうもちょっと厳しくなりつつあるのかなというふうにお見受けします。

ここについての施設としてのこれからの見込みというんですかね、それをどういうふうに持っていらっしゃるかをお答えください。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） まず、太宰府東小学校ですけども、今年度中に1つ学童保育所を増やす予定にしております、今随時準備をしているところでございます、建設するというところでですね。

それから、水城小学校につきましては、校舎を建て替えられましたので、その中で、もし不足があるようであれば、学校教育課あたり、関係課に協議をさせていただいて、例えば使用させていただくとか、そういうことも視野に入れて協議をしていくつもりでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 関連してなんですけれども、この学童保育所のこの人数なんですけれども、長期入所分も入っているんですか。短期と言うんですかね、長期。休み、夏休みとか春休みとかそういうふうな分の人数も入っているのかどうか、確認です。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） これはたしか通年分、夏休みだけ利用されるという方は入ってなか

ったと思います。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） そしたら、それを含めると、まだこの平均人数は増えるということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） そのようなことになりましたが、夏休みとかにつきましては、これとは別に教室をお借りして学童保育を運営するとかというようなこともさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、158、159ページですね、5目子ども医療対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目家庭児童対策費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 家庭児童相談事業費でお聞きをいたします。

コロナ禍の中、令和3年度の数字を見てみると、家庭児童相談員さんも当初2人だったんですけれども、今4人ということで書いてあります。相談件数も、コロナ禍の中、500人を超えて相談があっけいまして、たしか未就学児の児童虐待の相談が67人などがすごい数が上がっていたんですが、今回相談件数が268人とかなり減ってはきているんですが、これは新規の数として上げてあるんですかね。それとも、継続してずっと見てある数というのは、どこにも今のところこれは分からない感じなんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 事務報告書に記載しております268件につきましては、令和5年度相談があった件数でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 2年間、ちょうどコロナ禍の中の令和3年度の決算報告書だったと思うんですけれども、500件超してあって、今回268件ということで、その児童虐待相談のそのときからの引継ぎという人数とかというのは分からないんでしょうか。さっきちょっと質問したかも。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 継続して年度をまたいでご相談いただいているケースもございますけれども、一応5段階評価で管理をしております、その都度見直しをして管理をしてお

りますので……。

○委員長（陶山良尚委員） 出ますか、回答が。

（小島真由美委員「いいです」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 質問の方法を変えますね。

不登校の数もコロナ禍は71件だったんです。今回が9件ということなんですね。コロナ禍で出てきた数字をどう追いかけてあるのかなというのを知りたかったのが、こんな質問になったんですけれども、大事なのは、今家庭センターが一つに統合されたので、継続している事案をどういうふうに横断的にやっているのかなというのを最終的には知りたいということなので、ここでちょっと回答ができないかも分かりませんが、とても大事なことなので、すみませんが、数字的にはきちんと追いかけていっていただきたいなと思います。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 分かりました。もし回答ができれば、また後ほどお願いしますけれども。そこはまたお任せします。

ほかにはありませんか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） すみません、002の12委託料の中の子どもの居場所づくり事業委託料なんですけれども、新事業としてスタートして約1年2か月たっていますが、数字としてちょっと詳細が出ているのかなと思ったんですけれども、事務報告書に出てなかった分で、利用者数はどれぐらいいらっしゃったんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 令和5年度の利用につきましては、3世帯、利用回数は66回でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 利用者の方の利用のその後というんですか、利用後の状況を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 継続して、令和5年度につきましては3世帯の方が継続して利用されておりまして、太宰府市の利用の対象につきましては、要保護児童、特定妊婦、支援を要する方がいる世帯を対象としておりまして、継続的に利用をされておりますので、現在も利用されているという状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。

それと、市との連携に関してなんですけれども、この前ちょっとお話を直接お伺いしたときに、利用者さんに対しての療育とかそういったものをどうしていこうとか、市との連携と

か、他自治会とかそういったものの連携も考えているというところ、あと、一旦そういう問題のある方たちを預かるための……。ごめんなさい、1個ですね、すみません。

○委員長（陶山良尚委員） いや、1個じゃなくて、終わってから言おうと思ったんですけども、ちょっと一般質問化というか、ちょっと具体的に、あくまでもこの数字とかその辺についての質疑ならいいんですけども、質問になりようけん、その辺ちょっと注意していただければと思いますけれども。

○委員（馬場礼子委員） 分かりました。じゃあ、改めて子育て支援課のほうに伺います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今馬場さんが取り上げられたところの子どもの居場所づくり、シングルマザー支援事業ですかね、今手元に予算説明資料のときのものを持っているんですけども、その最後のところに、地域全体で子育てを行う社会を目指す取組ですという書き方がされているんですけども、今馬場委員が具体的なことを聞かれようとしたかと思うんですけども、今後のこれを地域全体で子育てを行う社会というのに向けて、どういふ……。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員、同じ。同じなんですよ、もうはっきり言って。質問になりようわけです。皆さん、質問になりようけんですね。そこはちょっと考えてもらわんと。そこまで深掘りすると、これは質疑じゃないんで。

○委員（笠利 毅委員） 反論するわけではありませんが、昨年度の事業の成果として、次のステップに向けて何を得ているとかという質問です。

○委員長（陶山良尚委員） だから、そこはそれでいいけれども、ちょっと前段が長過ぎて、仮定の問題でそこはちょっとあるので、端的にその辺は、質疑ですね、あくまでも。

○委員（笠利 毅委員） 次のステップに向けてどのような準備が進められているかということをお聞きしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 次のステップで、それも若干ありますけれども、回答できるなら、それは。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 令和5年から第3の居場所というところで、ぎんもも、ぎんとももの施設を開設いたしております。毎日メールのやり取り、現場との、その日の日報でありましたり、あと月報、支援計画等々を作成したりとかいたしまして、今支援を行っておりますので、令和6年度も継続して居場所づくりを、緊密に関係機関とも連携しながら実施をしたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 163ページの細目003ファミリー・サポート・センター事業費です。事務報告書が39ページ、その上段です。ファミリー・サポート・センターの会員数の表をいただいたんですけども、おねがい会員が612人、おたすけ会員が49人。おたすけ会員が非常に不足しているように見えまして、お願いするほうと受けるほうとすごくアンバランスなように受け取れます。ここでこれ、この事業自体、非常に需要がある事業だと思いますけれども、このアンバランスで何か問題があるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 委員おっしゃるとおり、お願いする会員さんのほうが非常に多い数字となっております。おたすけ会員さんのほうの会員の登録等々もやっておりますけれども、アンバランスになっておることは確かでございます。

ただ、今現在、全ての方が利用されているということではございませんので、今ある程度固定の利用の方も多うございますので、今のところ支障はないというふうに考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） その下の利用の件数、内容なんですけれども、それが一番多いのが実は預かりではなくて送迎が、約8割が送迎なんですけれども、この送迎というのは、例えば保育所、幼稚園等から自宅までの送迎、あくまで送迎ですね、それを指しているんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） そういった学童保育所とか保育園とかというのが一番多い状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはよろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3項生活保護費に入ります。

1目生活保護総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、2目扶助費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 165ページ、001の生活保護費のところに関連すると思うんですけども、福祉事務所にケースワーカーの方がいらっしゃると思うんですけども、配置人数が保護者80人当たり1人という規定があると思うんですけども、太宰府の場合は今、事務報告書の39ページでいきますと、世帯でいくと715世帯というふうになっていますので、80世帯に1人という基準だと思うんですけども、人数は9人ぐらいになるかと思うんですけども、その点はいかがでしょうか。配置のほうは大丈夫でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） こちらの生活保護のケースワーカーについてなんですけれども、社会福祉法で定める定数になるんですけども、こちらにつきましては、被保護世帯の数がまず

市町村の場合でいくと140以下であるときは3としまして、あと被保護世帯が80を越すごとにこれに1を加えた数字と一応なっております。先ほど言いました被保護世帯につきまして715につきましては、これは平均という形になっておりますので、正式には714世帯に対しまして、この定数でいきますと8人となります。そして、現在9名のケースワーカーで被保護世帯の支援のほうを行っているところであります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） すみません、確認ですけれども、この9人の方は一般職員で、資格は社会福祉主事なんかを持たれている方が配置されているということによろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） こちらにつきましては、9名は全て正職員になっております。そして、こちらのケースワーカーにつきましては、社会福祉法に基づきまして社会福祉主事の資格が必要になっておりますので、異動してきた場合は、順次こちらは講習のほうを受けるようにしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） すみません、その講習を受ける費用は、午前中研修費のところでありましたけれども、そこでカバーされているということによろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） こちらにつきましては、生活保護費の旅費のほうで支払いのほうをしておるところであります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、1日にちょっと戻る。

○委員長（陶山良尚委員） 1目ですか。

○委員（小島真由美委員） 申し訳ないですが、生活保護事務関係費なんですけれども、生活保護費の39ページのここの異動状況とかもちょっと絡むんですけれども、すみません、コロナ禍の中では、生活保護の相談件数自体の実数だけ見ても、令和3年度あたりは143人だったんですけども、実数だけ見ても434人ということで、これはどういうふうに考えたらいいのかなと思って、ちょっと分からないので説明をお願いしたいのと、コロナ禍だから多いのかなと思って、逆だと思っていたんですけども、今のほうが延べ人数も507人ですよ。実数も434で4倍ぐらいなんです。何でかなと思って、ちょっとそのことが知りたいのと、保護率自体はそんなに変わらないんです。コロナ禍と。であるならば、これ生活困窮者が、困窮世帯とか困窮されている方が、生活支援課の中でも振り分けて、今度は生活保護にはならないけれども、

自立支援をされているというような状況になっているのかどうか、ちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） こちらにつきましては、生活保護の相談につきましては、コロナ前から相談件数というのはあまり大きくは変わりはないんですけども、令和5年度につきましては、物価高騰に伴いまして、やはり自分が生活保護に該当するんじゃないかというそういう問合せが多かったというところで、今回増えているという状況になっております。令和6年度につきましても、今まだ上半期に近いんですけども、同じような状況になるんじゃないかなと考えております。

また、こちら保護については、そんなには世帯は増えてはないんですけども、やはり生活困窮者の相談、そしてまた継続相談というところが非常に増えておりまして、そこで生活困窮者自立支援事業を使いまして、自立に向けた支援のほうを行っているところであります。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 166、167ページですね、4項1目災害救助費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4款衛生費に入ります。

1項保健衛生費、1目保健衛生総務費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 167ページ、健康づくり推進費の07節かな、報償費、健康づくり奨励品約767万円。これ、事務報告書40ページに、今回達成した方、元気づくりポイントで達成した方、引換者数が2,842人というふうになっていますが、これの内訳を教えてくださいませんか。1,000ポイント、2,000ポイント、3,000ポイントあるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） 元気づくりポイントの内訳ですけども、これは令和5年度の金額ですけども、これについては令和4年度の達成者の支払いとなりますので、令和4年度の実績についてご説明させていただきます。

令和4年度の実績につきましては2,820人達成されてあります。5,000ポイントが565名、3,000ポイントが1,257名、2,000ポイントが558名の合わせて2,820名となっています。

ちなみに令和5年度ですけども、こちらについては2,842人ということで、5,000ポイントが599名、3,000ポイントが1,252名、2,000ポイントが594名、1,000ポイントが397名という内訳になっています。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） これはとてもいい事業だと思っているんですが、これはお米がもらえる

のは5,000ポイントですか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） 5,000ポイント達成されて、健診を受けられた方になります。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それで、ポイントを個人個人でどういうふうにスタンプを管理されているか分かりませんが、ちょっとずるをする人がいるというのを聞いていまして、不正をやる方があるらしいんですよ。あれは日付も入っていますよね、スタンプ。日付を先にやって、3日分ぐらいぼんぼんぼんと押すとか、そういうことをやる方がいるということで、これ767万円も公金なんですよ。それに商品券として還元しているわけですから、これは不正がないようにできるだけ在り方をちょっと考えたほうがいいかなと。これ、自治会長にお任せされているんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） 基本的にはアナログという形で、どうしても自治会の活動については自治会、公民館に置かれてあったりとか、歩こう会については歩こう会のスタンプを押すところが設置されてあったりしますので、委員おっしゃるとおり、ポイント目的になっている方がいらっしゃるというのは過去に承知しているところではありますので、その点についてはちょっと課題としておりますので、今後、当然健診とか健康づくりを中心とした内容にできないか、検討はさせていただいているところであります。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 最後になりますけれども、以前はいきいき情報センターに来ていただいて商品券交換でしたよね。今は郵送になっているみたいなので、この辺ももう一回見直されたほうがいいかなという感じ。やっぱり顔と顔を突き合わせてやったほうが、その辺は事務効率としてどういうふうに、どっちがいいのか私も分かりませんが、もう一回再検討していただきたいなと思っています。よろしくをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 167ページ、一番下です。アピアランスケア推進事業助成金なんですけど、これは令和5年度に新設された重点事業になっています。予算が44万円に対して決算額が67万7,000円と増額しております。かなりこれを利用された方が多かったと思われそうですけれども、この利用者のこの事業に対する感想なり受け取り方をちょっと聞きたいんですけども、どうだったでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） アピアランスケアの商品の購入の助成金につきましては、まず実績からなんですけれども、令和5年度については24件申請がございまして、医療用ウィッグが21件、それから補正用具としては4件ほど申請がございました。見込みよりも多かったという

ところで、流用で対応させていただいているところで、好評というのはちょっとおかしいですけれども、有効活用させていただいているのかなというふうには考えています。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） かなり反応がよかった事業だと私も思います。

そこで、しかしながらこれ、令和6年度がこの令和5年度の決算額を踏まえた金額ではないような気がするんですよ。令和6年度予算が42万7,000円ですのでね。そこを考えると、同じ額を上げていたほうがよかったのかなと思うんですけれども、ここを令和5年度の額に据え置かれた何か理由があれば、ご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） そうですね、令和5年度は一番最初ということでニーズも多かったというところもあるかと思えますけれども、初めての事業、初めて始めたというところで、今回は様子見と言っては何ですけれども、前年度程度というところで、ここは予算のほうは編成させていただいております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、170ページですね、2目保健予防費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 171ページ、003精神保健関係費のところになると思うんですけれども、事務報告書の41ページで精神保健関係費、2枠目のところですが、福祉学習会でこころの健康と睡眠というので91名の参加があっているんですけれども、これはどのような方が参加されているのでしょうか。当事者の方か家族の方なのか、そういう方たちのケアをする方が多いのか、そこら辺ちょっとお願いしたいんですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） こちらについては、毎年1回、精神保健福祉学習会ということで開かせていただいているんですけれども、これは市民の方対象というところで開かせていただいています。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） ということは、もう広く告知をして、どなたでも来てくださいますというような形の開催ということによろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） 委員お見込みのとおりです。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 同じところなんですけれども、自殺予防に係る研修会を大体1回開催されているんですが、自殺予防計画やったか何かを見たときに、何年か前は近隣市で太宰府市が一番自殺者が多いんですよね。その状況から今の状況というか、令和5年度の自殺者の数とかが分かれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） すみません、令和5年度の数字はまだちょっと入ってないところではあります。令和4年度が12人、令和3年度は11人というところの数値は入ってしまして、平成30年度から令和4年度までの5年間で見ると57名というところの数字は出ているところです。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 173ページの新型コロナウイルスワクチン接種事業関係費、事務報告書のほうが42ページです。そこに令和5年度の新型コロナウイルスワクチン接種状況のパーセントが書いてありますけれども、第1回が85.5%、どんどんどんどん減って行って、最終的には第7回目は17.6%と、やはりかなり接種する方が減っているところで、これ、かなりのワクチンを用意されたと思うんですけれども、ちなみにこれ、廃棄された量って非常に気になるところなんですけど、廃棄量といったら何件分を廃棄した形になるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） すみません、廃棄量についてはデータをご用意していませんでしたので、後ほど、もし分かればお答えしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね、ほかには。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、174、175ページ、3目母子保健費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目環境衛生費について質疑はありませんか。178、179ページですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目公害対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目環境管理費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 183ページ、003の環境基本計画推進費の中の12委託料なんですけれども、環境教育推進事業委託料。事務報告書の43ページの一番下の環境基本計画推進費の4番

目の移動自然博物館事業実施校に当たるのかなと思うんですけども、これ小学校7校全てで事業をされているようなんですけれども、この委託料の積算というか、何に使われているのかというところを教えてくださいなんですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 今委員おっしゃられたように、移動自然博物館事業、こちらのほうになりまして、内容的には、子どもたちに身近な自然の生き物への興味とか関心を持ってもらい、環境保全に重きを置く人材を育成するために、生き物の専門家を学校のほうに派遣しておる事業でございます。

内容的には、各学校で学年とかで内容は若干変わるんですけども、授業とか展示、それからフィールドワーク、調査の発表、こういったものを行っておるところです。一般社団法人のまほろば自然学校のほうに委託しております。

積算の根拠については、見積り等をいただいて、そちらから出しております。今ここで幾らというのはちょっと今持ち合わせておりませんが、まほろば自然学校のほうに委託をして行っている事業でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 7校で何日間か学校ごとで違うんですけども、これは1日幾らというような感じで委託料を出されているのか、そこら辺はいかがなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） すみません、積算根拠については今ちょっと資料を持ち合わせておりませんので、後ほど回答させていただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項清掃費、1目清掃総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目塵芥処理費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 183ページです。事務報告書が44ページなんですけれども、その2段目、ごみ処理費、これ一覧表になっています。これが令和元年度から令和5年度までの各ごみの種類による排出量を見ていくと、すごく順調に、大幅ではないんですけども、右肩下がりで可燃ごみも不燃ごみも粗大ごみも下がってきているんですよ。これについてはすごくいいことだと思うんですけども、これ、何かしらごみ減量の対策の効果と考えてよろしいんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） ごみ減量は、ここ数年、減少傾向で推移しておりまして、委員おっしゃ

られるように1人当たりのごみ量でも少しずつ減ってきているような状況です。

ごみ減量の取組といたしましては、自治会への出前講座とか段ボールコンポストの普及啓発、また古紙集団回収等の奨励金とか生ごみ処理機の補助とか、こういった取組を進めておりますので、今のところ順調に減少しているという状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じ表の下のほうですね、これ、資源ごみ、リサイクルの率が実はあまり横並びというか、頭打ちなんですけれども、これ自体が古紙の回収量が逆に下がっている。これは上がったほうがいいんでしょうけれども、これは恐らく民間のそういう集配場とかで、行政が集める以外のところで、逆にそっちのほうに流れていっているかなと思うんですけども、ここら辺のリサイクル率、それも含めたらこれ、自治体としてかなり率としては上がるような気もするんですけどもね。そこら辺の加味することというのはないんでしょうかね。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 令和5年度に一人ひとりごみ減量プロジェクトと銘打ちまして、ロゴデザインを作成しまして、公用車に貼ったりとか、指定ごみ袋とか広告入りの封筒に印刷をするなどして広報に努めておりまして、古紙回収の集団回収についても積極的に推進したいというふうに思っております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、186、187ページ、3目し尿処理費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3項上水道費、1目上水道事業費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、5款労働費、1項労働諸費、1目労働諸費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6款農林水産業費、1項農業費、1目農業委員会費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項農業総務費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目農業振興費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 委員長（陶山良尚委員） それでは、4目都市近郊農業推進費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） そしたら、次のページですね、5目農地費について質疑はありませんか。  
神武副委員長。
- 副委員長（神武 綾委員） 001の農業用施設整備費のための池のところになると思うんですけども、直接この決算にはつながらないかもしれませんが、ため池に入らないでくださいとかというボードが、案内がされているんですけども、それが連絡先が太宰府市とかそういうふうに書いてあるんですけども、太宰府町になったものとかがまだ存在してまして、ちょっと気になったので、いろいろほかにも見たんですけども、小学校の社会体育の倉庫なんかも生涯学習課って残っていたりとか、防火水槽が厚生課とかというふうに残っていたりとか、点検されているのかなというところがありまして、これは一度総務課のほうに点検をお願いしますと言ったことがあるんですけども、その後どういう段取りになっているのか、分かれば教えてください。
- 委員長（陶山良尚委員） 総務課長。
- 総務課長（鳥飼 太） 全体的な点検ということで今のところちょっとできておりませんが、また改めて各所管部署に確認を依頼したいと考えております。  
以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。
- 副委員長（神武 綾委員） すみません。ため池だったり防火水槽とかも、いざというときに緊急に連絡しないといけないところだと思うんですけども、それで連絡先が実際に担当課が名前が違ったりとか、ないとかというようなことになっていきますので、そこは早急をお願いしたいなというふうに思います。すみません、要望です。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、2項林業費、1目林業振興費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、2目林業管理費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、3目緑地推進費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、7款商工費に入ります。  
1項商工費、1目商工総務費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目商工振興費について質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 197ページの12委託料の企業誘致支援業務委託料の407万円に関するところで、決算審査資料で19ページで資料要求もされているようなんですけども、これは企業誘致を進めるということで、重点事業の一つになっていたかと思うんですが、ちょっとこの決算審査資料として出てきたものについて説明していただきたいんですけども、成果を求めていることだと、実績に対する質問に対して、本市に企業が多数進出していることが推察されますと、下から3行目かな、ありますけれども、企業の進出数というのは数字として把握することができないのかどうか、まず教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 企業誘致の進出数でございますが、市のほうの7款のほうで予算化して支出しているものとして、今年度予算でいいますとサテライトオフィスの補助金がございますが、そういったところでその申請があれば、数というのははっきりと分かってくる場所がございますが、実際のところどのぐらいの企業が進出しているのかということにつきましては、統計を取っておらない関係もございまして、実態として正しい数字の把握というのは難しいところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） この事業は、民間のコンサルタントに委託して、ノウハウを活用して企業誘致を進めるということだったかと思うんですけども、今のご回答がちょっと意外だったので、まだ頭の整理がつかないんですけども、数は把握できないということなんですね。

じゃあ、それとその下の行なんですけれども、全市を挙げたシティプロモーションの推進と他市にはない本市独自の創業支援の取組が、企業進出の機運を高めているものと考えていますとありますけれども、機運を高めるとしか言えないということが先ほどの説明だと思ってしまうんですけども、本市独自の創業支援の取組というのが具体的に何を指しているのかをお尋ねします。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 独自の企業誘致の支援といたしましては、太宰府市内に事務所をどこかに設けてもらいながら、サテライト的なお仕事をさせていただくまず仕組みから始まるかというところで、まず1つはそれを考えております。

あと、今商談をしています5社につきましても、やはりまずはサテライト的なところから進出を希望したい、また太宰府市内で事業を展開するに当たって、やはり太宰府市内で仕事としてやっていけるかどうか、こういうところも今検証をちょっとしていただいているところでございまして、そういったところから進めていけたらなというところで考えているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今お話しいただいた内容が事業として予算化なり何なりされているかと思うんですけども、何という名称の事業の下でそれを行っているかを教えていただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 今年度の予算のほうでも計上させていただいておりますが、サテライトオフィス整備支援事業補助金、こういったのを準備させていただいております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 197ページのL Pガス価格高騰対策補助金、事務報告書49ページの交付件数ですけども、7,468件掛けるの5,000円でこの数字になるんですけども、もともとL Pガスの利用の件数というのが把握されているかどうか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 当初、こちらの件数につきましては、正直、正しい件数というのまでは把握ができておりません。市内のまず世帯数であったりとか、あと事業者数、それからこれも想定ではあるんですが、オール電化の家庭とか、あとは都市ガスがどのくらいあるのかというところから、それから全国的な割合、こういったところから当初こちらのほうの件数というのを割り出して、当初は1万5,000件ほど見込んでおりましたが、このL Pガスの事業を開始するに当たりまして、福岡県のL Pガス協会、こちらのほうとご協力をいただきましてチラシの配布とかをお願いしたところがございます。その際に、協会のほうに加入する事業者の総数から見ますと、約1万1,000件という数字が出てきました。ですので、実態的には1万1,000件程度かなというところで考えているところがございます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） そうしますと、簡単ですけども、1万1,000件から7,468件を引きますと、3,000件ちょっとの方は申請をされなかったということでもいいんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 委員おっしゃるとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 197ページの12節委託料で令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト推進事業委託料、こちらについて、これ当初予算は1,000万円ほどだったんですけども、実際に決算額は358万8,000円という形になっていまして、不用額が658万1,000円出ているんですけども、35%しか使っていません。これ、令和5年度の重点事業だったはずなんですけれども、まず何に使ったのかというのと、逆に何でこれ不用額がこんなに大きく出たのかをご説明いただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） こちらに決算上計上されている358万8,200円の委託料でございます

が、まず1つが、「梅」プロジェクトは昨年策定しました中期事業計画、こちらの策定支援業務委託、そちらのほう、それから梅の収穫の際、梅の実収穫を市内の造園事業者のほうに委託をしたというところで、そちらの金額になっております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 使い道は分かったんですけども、これ、すごく65%も余らせてというのは、当初の見込みがちょっと甘かったという形なんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 当初はなるべくこの「梅」プロジェクト事業につきましては、アウトソーシングと申しますか、民間のほうにというところの考えもございました。実際にそういった、特に「梅」プロジェクトをPRする事業というのを、民間の活力を活用させていただきながらということでも考えてはあったんですが、昨年度、中期事業計画を策定するに当たりまして、もう少ししっかりと考えながらやったほうがいいんじゃないかというふうなことになります。その分、約500万円ほどありましたが、その分の予算の執行がなかったというところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 関連して同じところなんですけれども、事務報告書の49ページにカルビーをはじめとする一覧表が載っています。これは新規開発と見直し製品の一覧なんですけれども、もう固定で、カルビーと福太郎というところはもう大体固定でというような、それプラスアルファ、新しいところみたいな感じでこれから見ていくんでしょうか。大賀酒造がコラボして梅酒か何かを前造ってあったと思うんですが、これがもうなくなっているなど思いながら見ていたりとか、あとチョコレートショップはもう期間限定というのは分かっていたんですが、この一覧表の中から、また坂本洋菓子店とか新しいお店も幾つか入ってはきているんですが、これはある程度の会社自体を少しずつ固定しながら、何社ぐらいまでにするとかという、何かそんな方向性とかはあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） こちらの事務報告書の49ページにつきましては、令和5年度に新規で開発した製品もしくは見直しをした製品ということで、カルビー、それから山口油屋福太郎、こちらのうめんべいにつきましては、パッケージであったり味が少しずつ毎年変わってきている、こういったところを見直しというところで掲載をさせていただいております。

委員のほうから要求いただきました審査資料18ページになりますが、そちらのほうに製品一覧ということで要求をいただきましたので、令和5年度に実際に製造販売をしたもの全てを掲載をさせていただいております。

今後におきましては、やはりこの「梅」プロジェクトを毎年PRしていつているということで、賛同していただく事業者というのは非常に多くございます。まず何か太宰府の梅を使ってというようなご希望等ございましたら、まずは会社のほうとかとお話をさせていただきなが

ら、場合によってはちょっと試作を作りたいという事業者もございます。そちらのほうには保管している梅を渡しなが、まずは製品開発ができるかどうか、こういったところを検討していただくというところから、併せてまた事業のPRもしているというところございます。

以上ございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。

もう一つ、すみません。前、産業推進協議会というのがあっていたと思うんですが、今回ちょっとないなと思って見ていたんですが、これはどうなっているんでしょうかね。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 令和3年まで産業推進協議会というところで、特産品の開発というところを目的に協議会を設置しておりました。一度、令和3年度にいろいろと検討する中で、どうしてもこの「梅」プロジェクトというのが始まってきて、こちらに推進していくことにちょっと特化してきたということもありまして、その産業推進協議会のほうでは新たな太宰府の可能性を導き出すということで、未来への道しるべという方向性を示すようなパンフレットを作ってくださいにしております。

この未来への道しるべにつきましては、新たに太宰府で創業を開始される方であったりとか、そういったところの指標になるようなものございまして、今創業支援も市のほうでもしておりますが、創業塾とかで受講される創業者の方にそういった案内をさせていただいているというところございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 回答がよく分からなかった。産業推進協議会自体はないけれども、形を変えたという認識ですか。それとも、もうなくて、「梅」プロジェクトに変わったんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 産業推進協議会の役割的なところとしては、一旦ちょっと終了という形で私ども見ております。また、この「梅」プロジェクトを今推進していく中で、新たにまたそういった協議会というのが必要というふうになってきた場合には、また同様な協議会のほうをお願いして、ご審議等をいただければというふうなところで考えております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） お二人の委員が質問された「梅」プロジェクトに関することで、話を聞いてちょっと思ったことではあるんですけども、報告書のほうが新しい製品で、決算審査資料のほうが令和5年中に製造販売をしたものの一覧ということでしたけれども、現時点で手に入る商品の一覧のようなものが例えばホームページに出ているとか、市としてまとめてあるとか、そういうことはあるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） まず、今現在、この製品はどこで取り扱っていらっしゃるかというところにつきましては、委員おっしゃるようにホームページ等で掲載をさせていただいております。また、「梅」プロジェクトの一覧表ということで、どういった製品がありますかということで、窓口で配布させてもらったり、今様々な市内で開催されますイベントとかにも積極的に「梅」プロジェクトをPRさせていただいております、そちらの方でもお配りをさせていただいたりということで周知のほうを図らせていただいております。

実際に今この時期、非常に少なくはなってきました。これから増えてくるかと思いますが、通年ある製品についてもございますので、そのあたりを中心に今PRをさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 分かりました。

これはちょっと準備している過程ではほかの方が聞いていたことではあったんですけども、今手に入るものが、カタログを見なくても店先で見た場合に、これは「梅」プロジェクト製品だとぱっと分かるようなロゴマークといますか、そんなようなものってあるんですかね。それとも作ろうとしているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） ロゴマークにつきましては、令和3年のこのプロジェクトを開始するに当たって作りまして、これを製品に必ず貼付をいただくと。いただけない場合でも、しおり等とかラベルの隅にでもこれを貼付していただく、こういうことを各事業者のほうにはお願いしてPRを図っているというところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連しまして、申し訳ないです。決算審査資料18ページ、ここに「梅」プロジェクトとして開発された製品の一覧の資料をいただきました。24件、これ今までの製品だと思いますけれども、改めてなんですけれども、この新製品を民間業者が開発する際の行政、市の援助といますか、どういう形で援助しているのか。たしか太宰府で取れた梅の実を材料として提供しているという話も聞いていますけれども、研究開発費って、これ結構大変だと思うんですけれども、何かしら予算的に補助という形で、もしくは何かの予算をつけているのか、改めてですけれども教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 今委員おっしゃるとおりでございます、これまでの支援といたしましては、梅の実の提供というところにとどまっております。製品の開発につきましては、このうちの半分までとは言いませんけれども、福岡農業高校の授業の一環で、一緒に企業のほうとコラボして作っている製品というのも結構ございます。この「梅」プロジェクトを推進する

に当たって、独自に会社のほうで何かやりたいというところで、まずは青梅から提供いただきたい、それで考えたいという企業もごございます。

いろいろと事業を進める中で、例えば加工する事業者を紹介してほしいとか、そういったご相談も受けております。この「梅」プロジェクトの中期事業計画をつくる中でも、その辺のところは開発という部分に関しては、何がしの支援が必要に今後はなってくるだろうというところで、まずは直接的に事業者さん、特に市内の事業者さんのお話をまずは聞く場というのを設定させていただきながら、そちらのほうでお聞きしながら検討していくというところで考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 何となく納得しました。以前、市長が太宰府で取れる梅の量が限定的だから広がらないと言ったのが、そこにつながるわけですね。そしたら、なかなか広がらないですよ、それだったらね。逆に「梅」プロジェクトの製品という何かしら、さっきロゴという話もありましたけれども、何かルールというか、それがあれば、梅に縛られなくてこのプロジェクトが進むような気がします。これは感想です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、198、199ページ、3目消費者行政費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 49ページの事務報告書をちょっと見させてもらいました。相談件数は489件ということで、内容が、ここのところよく言われているロマンス詐欺だとか年金の受給に合わせてよく電話がかかってくるような、ロマンス詐欺だったり、あとはN I S Aの投資詐欺、こういったものがこの一覧に入っていないなと思いながら、そういうものはこの令和5年中ではなかったのか、令和6年になって少しそういうのがありつつあるのか、その辺の状況を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） まず、ロマンス詐欺的などところにつきましては、やはり最近ちょっと増えてきているところがございます。特に若い世代のほうでそういった相談があっていて、何かどこかの会員になればもっと出会いが広がるというようなお誘いに多額の費用をお支払いしたということでご相談というところで、何とかその分に関しては相談いただいて解決もしたところもございます。

また、N I S Aの関係につきましても、多重債務とかというところで若干なりとも相談はあっているというふうに報告は何っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ということは、ロマンス詐欺的なもの、投資詐欺ということは、令和5年の一覧表の中にはないということですかね。令和6年度に入って、最近はちょっと増えてきているということではないですか。

投資詐欺については、この多重債務の中の、投資詐欺というか、NISA関係とか投資詐欺についてはこの中に含まれるということなんでしょうか。

表の作り方として、これ提案なんですけれども、時代に合った、今話題になっているようなのもちょっと知りたいので、そういう作り方のほうがいいかなと思います。分かりやすくしていただけたらと思います。すみません。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、ここで14時20分まで休憩いたします。

休憩 午後2時10分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後2時20分

○委員長（陶山良尚委員） 会議を再開します。

人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 先ほど神武副委員長からお尋ねの隣保館の利用状況についてご回答いたします。

まず、支部役員会・認定委員会69名、支部集会は323名でございました。数字が異なっておりました。まずおわびして、訂正させていただきます。

それから、介護に特化した相談はゼロ件でございました。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） すみません、もう一回いいですかね。もう一度。

○人権政策課長（河野貴之） 事務報告書の34ページの2番、南隣保館管理運営費の2番の隣保館利用状況についてお尋ねであったと存じております。事業名の一番上の支部役員会・認定委員会は利用者69名でございました。数字が異なっておりました。おわびいたします。

それから、上から5番目の支部集会は、同じく323名でございました。これも数字が異なっておりまして、おわびいたします。

それから、別表1の下から2番目、介護相談は、介護の特化相談はゼロでございました。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） すみません、ありがとうございます。

介護相談がゼロということでしたけれども、これゼロになった理由ってあるんでしょうか。先ほどカラオケの分は。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） こちらは別表2の上から4番目、生活相談とか、あるいは生活の困り事相談等に包含しての相談でございます、介護に特化した相談はなかったということでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） どうぞ、次をお願いします。

環境課長。

○環境課長（大石敬介） 先ほど神武副委員長よりご質問がありました決算書183ページ、003環境基本計画推進費の12節、環境教育推進事業委託料の積算根拠についてご回答いたします。

こちらにつきましては人件費になりまして、講師の方が1時間6,000円、それから講師の補助の方が1時間1,000円、1講当たり10時間を限度としておりまして、これの7講分という形になります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、次をお願いします。

元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） 先ほど木村委員のほうからお尋ねのありました新型コロナウイルススワクチンの廃棄量なんですけれども、1本で7本取れるバイアル、これを1バイアルとして1,459バイアル廃棄をしているということでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目観光費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 観光費の……。すみません、間違えました。申し訳ありません。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 203ページの太宰府館管理運営費の委託料なんですけれども、予算では新規で1,500万円の太宰府館の活用方法に係る官民連携手法調査事業と、あと少ないんですけれども、イベント委託料というのがあったんですけれども、今回そういうふうなものがちょっとないんですけれども、今回してないということ。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 今原田委員からご指摘の件は、恐らく令和6年度の予算の件ではないかと存じます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 予算書を見てもらうと、予算書の149ページにきちんと……。

○委員長（陶山良尚委員） 令和6年度の予算書。

- 委員（原田久美子委員） いや、ごめんなさい。予算書、みんなはないと思いますけれども。
- 委員長（陶山良尚委員） 何年度の予算書。予算書については。
- 委員（原田久美子委員） 令和6年度。
- 委員長（陶山良尚委員） 令和6年はまだしてないです。今、令和5年度の決算についてなので。
- 委員（原田久美子委員） いやいや、いいですよ。だから、令和6年度じゃなくて、令和5年度に新規事業として……。ちょっと待ってよ。ああそうか、ごめん、間違った。
- 委員長（陶山良尚委員） いいですか。
- 委員（原田久美子委員） 間違った。いいです。
- 委員長（陶山良尚委員） 分かりました。
- 委員（原田久美子委員） すみません。
- 委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。
- 委員（長谷川公成委員） 事務報告書の50ページの観光宣伝費なんですけれども、観光パンフレット等とあります。合計が13万5,200部パンフレットを作られているんですが、これは毎年新しく作ってあるのか。これだけ作ればなかなかの枚数なんで、全部毎年毎年配布できているのかなというふうな疑問があるんで、数はなかなか幾らできた、配布枚数が分かれば教えていただきたいんですけども。
- 委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。
- 観光推進課長（西山英毅） 正式な配布部数までは把握しておりませんが、この印刷部数については、やはり昨年大きな動きがあったのが、コロナの5類移行というのがあって、観光客が一気に増えてきたと。一方で、予算計上はしておらなかったということで、かなり増刷をさせていただいたという経緯がございます。
- 以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。
- 委員（長谷川公成委員） だったら、観光客が増えたということで、その部数以上にはけているという認識でよろしいですかね。ありがとうございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかに。
- 船越委員。
- 委員（船越隆之委員） 観光事業推進費の201ページの002のところの12節ですかね。これで史跡地周辺のライトアップ事業で、予算は大体190万円だったと思うので、今度260万円ぐらいアップしていますけれども、それについてちょっと教えていただけますか。
- 委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。
- 観光推進課長（西山英毅） 史跡地周辺ライトアップの対前年による増というところでのご指摘かと思いますが、例年実施しております大みそかの観世音寺のライトアップは実施いたしましたが、追加で3月の桜のシーズンに御笠川の沿道のライトアップを実施したことによる増で

ございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 関連して、御笠川のあれは史跡地という形で見とっていいんでしょうね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） すみません、ライトアップという大きなくくりの中で、この項目の中で計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 203ページの004太宰府館管理運営費のところ、事務報告書50ページなんですけれども、利用者数が21万4,405名、太宰府館ですね。月の利用者、1日当たりが大体600名から700名という計算になるんですけれども、また後の57ページでいきいきのほうは16万8,542人なんです。明らかにいきいきの利用者数よりもめちゃくちゃ多いんですけれども、どこまでのどういう人数を数えてあるのかなと思いました。教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 太宰府館の入館者数のカウントについては、昨年7月からパスカウンターによる集計になっておりまして、おおむね正確に把握できているものと認識しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ということは、あそこベンチとかありますよね。あそこをご利用された方の人数も入っているということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） カウンターは太宰府館の館内、入ったところがございますので、そちらはカウントには含まれておりません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） じゃあ、主に私のあれとしては2階と3階の利用というのがメインなんですけれども、1階のああいいうお土産とかそういったところもフロアも含めての利用者数というところですね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 馬場委員のご指摘のとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員、あります、まだ。

○委員（馬場礼子委員） 5,000万円ですかね、そういった金額、運営費として上げられているんですけども、3階のまほろばホールのところでのそういったイベント、そういったものは大体どれぐらい年間行われたんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） まほろばホールでのイベントの開催回数ということでございますか。すみません、こちらは今把握しておりませんので、後ほど回答させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 203ページ、同じように太宰府館管理運営費なんですけれども、工事請負があつて改修と臨時工事が入っていますけれども、これはどの部分でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 太宰府館の工事請負費の内訳についてのご質問だと認識しております。臨時工事については、太宰府館の空調が故障いたしまして、それによる改修工事でございます。あわせて、電気設備関係の更新ですとか、3階のまほろばホールの舞台設備に関する工事でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） ここ太宰府館は、もうできて20年になると思いますけれども、空調のほうも、もう毎年毎年この部分は工事があるんじゃないかと推測します。

それで、今回猛暑で、太宰府館は臨時の暑さ対策のために、あそこ太宰府館を利用させていただくようにということで、こういうふうな来館者が増えたと思います。光熱費があまり、去年と同じぐらいなんです。だから、本当に電気が壊れとったのか、空調関係で壊れてつかなかつたのか、そういうふうなことがちょっと考えられるので、また今度決算はわかりますけれども、予算のときには電気代、光熱費は少し上げとったほうがいいのではなかろうかと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） いいですね。

ほかには。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 199ページを見ると、12節の委託料が758万円余り不用額が出ているんですが、これはどういったところの委託の不用額になったんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 小島委員の今のご指摘は、199ページの12番委託料というところでございます。

（小島真由美委員「はい、そうです」と呼ぶ）

○観光推進課長（西山英毅） 199ページのほうですかね。

（小島真由美委員「後でいいですよ」と呼ぶ）

○観光推進課長（西山英毅） すみません、後ほどご回答させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 幾つかあるんですけども、201ページの観光事業推進費の中に、予算のときには西鉄沿線観光プロモーションとあって8万8,000円上がっていたんですけども、これは決算額に入っていないんですが、これプロモーションはされなかったのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 今ご指摘の件は、001の12番の観光プロモーション委託料の11万円になっておりまして、費目の変更ということになっております。西鉄沿線観光プロモーションの当初は負担金として計上しておりましたが、最終的に事業者への支払いということになりまして、11万円ということで実績が出ております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 安心しました。

それから、203ページの委託料になるんですけども、さっき小島委員が言われたことに関係してくると思うんですけども、外国人観光客対策業務委託料、これ予算が458万円だったのが決算114万円になっているというところと、あと、その2つ上の交通誘導業務委託料も、これ予算が556万円だったのが340万円とかになっているんですけども、これ減額になった理由があれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） まず、外国人観光客対策業務委託料でございますが、これはかなり多めに、歴文税運営協議会での審議も経て一定程度見込んでおりましたが、結果としまして、3月の土日祝の11日間の参道と小鳥小路の交差する部分ですとか、太宰府駅前の交差点の誘導部分というところでの実績になっております。

もう一点が、交通誘導というところですかね。交通誘導は、これは主には年末年始に実施しておるものになっておりますが、これもかなりある程度予算は余裕を持って見ておりましたが、結果として決算額340万円ということになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） では、委託料、委託しなくても、配置をしなくてもスムーズに過ごせるようになっていくということで理解していいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） ご指摘につきましては、ある程度余裕を持ってというのは考え方としてあるんですが、昨今の人件費の上昇傾向というところもありますので、そのあたりも踏まえて適正な人員を再度検証しまして、また予算でご提案したいと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 201ページの同じく観光事業推進費なんですけれども、こちらのほうが施策評価の資料が4ページです。その中の施策成果指標の達成状況のところを見えています。滞在時間と消費単価、日本人旅行者立ち寄りの方対象と。その金額が、これ令和6年度の目標値が滞在時間が200分、消費単価が1人当たり4,000円という形で目標値を令和6年度として持っていたわけなんですけど、令和5年度、すごくこれ滞在時間も消費単価も上がっております。コロナ前に比べて、コロナ前は157分に対して174分、17分増えていまして、消費単価はすごいです、2,800円に対して1,800円増えて4,600円。目標の4,000円をクリアしております。

すごいことなんですけれども、これ、この施策評価シート自体がホームページで公開されるので、この数値の信憑性、正確性というのを非常に私、気にしています。このデータの出どころは何でしょうか。恐らくこれ、同年度にやっています観光滞在時間調査業務委託、ここから出された数字ではないかと思えますけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） ご指摘の令和6年度の目標値を上回っているという、令和5年度の実績値が上回っているというところではありますが、まず令和5年度の実績値についての考え方、根拠については、昨年度は第2次観光推進基本計画策定に当たりまして調査を実施いたしました。その調査結果を踏まえた実績値が、滞在時間174分と消費単価が4,600円というふうになっております。

目標値との差ということになりますけど、やはり令和6年度の目標値がコロナ前に策定された数値というふうに認識しておりますので、結果として、コロナ禍を経ているいろいろな観光の状況の変容とかもあった結果、このような実績になったものと受け止めております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そしたら、データについてはしっかりしたものであるということですね。

そしたら、その下の成果指標の増減維持分析、分析のところですね、これ。文言で説明してあるところなんですけど、まず滞在時間については、HOTEL CULTIA太宰府開業による宿泊増やクルーズ船来航停止によるインバウンド——これは滞在時間が少ない方という趣旨だと思います——により滞在時間が増加したということと、もう一つ、消費単価については、HOTEL CULTIA太宰府の開業により高額宿泊者層の増加によりと、あと参道の食べ歩き、回遊が増えたとか、あと滞在時間による増というこれ、この分析のコメントなんですけれども、これについては観光推進基本計画の基礎調査の中で出された、それに書かれているコメントなんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） この分析結果については、必ずしも今回の観光推進基本計画の改定におけるものと完全にリンクするものではないかと思いますが、このような分析を私どもとしてはいたしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） すみません、ちょっと1回で聞き及ばず、申し訳ありません。

004、太宰府館なんですけれども、私のイメージとしては2階の木うその体験、あと梅ヶ枝餅体験で、3階がまほろばホールの利用というところのイメージなんですけれども、ただ実際に1日当たり600人から700人来訪者がいるということで、そういう方たちを巻き込んでの今後の新しい太宰府館の使い方とかは何かあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） ちょっと今後についてはなかなかコメントしにくいんですが、まずはっきり申し上げますのは、日々業務改善というのは、私を含めスタッフとやっていくのはもちろんのこと、橋本委員からの一般質問でもございましたが、そのときの回答でもございましたとおり、太宰府館の今後の活用方法見直しというのにも着手したところでございまして、今後は民間の活力導入も含めた運営方法見直しということをやってチャレンジしてまいりたいと思っておりますので、その中で改善をさらに進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 木村委員の先ほどの質問に対する補足確認的なものなんですけれども、令和5年度の滞在時間であるとか消費単価の数字が、基本計画の策定に合わせての調査に基づいたということだったんですけれども、計画づくりのときって結構、よりしっかりした調査をしますけれども、調査方法というのは、基本的にこの5年間通じて同じ方法で取り続けていたというふうに理解してよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 笠利委員ご指摘の調査の方法についてであります。基本的に例年、観光客のトレンドの把握ということで毎年実施しておりますものに加えまして、令和5年度については観光推進基本計画の改定という年度でもありましたので、また別途実施して、策定方針の根拠とするようにいたしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、令和6年度の最終年度の実績値は、基本的な手法による

といたしますか、同じ方法で取り続けた数字が出てくる予定だと考えておいてよろしいですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 今笠利委員ご指摘のとおり、本年度も予算をご承認いただいております調査の中で実施したいと考えております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですね、もう。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に行きます。

204ページ、205ページですね、8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、2項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目道路橋梁新設改良費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、3目地域交通対策費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、3項河川費、1目河川管理費について質疑はありませんか。

戻ります。

（木村彰人委員「地域交通対策費」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） どこですかね、そして。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 211ページです。211ページの細目004渋滞対策費の中で総合交通計画と地域公共交通計画かな、それに関して、なかなかこれ結果に至らないというところで、ずっと続いている中で、まだ結論が、まだスケジュール、めどが見えないんですけれども、これ、今分かる範囲でスケジュールがどういうふうになっているかというのをお聞きします。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 先ほど地域公共交通計画と総合交通計画のスケジュールというお話かと思いますが、令和6年の第1回定例会におきましても、ちょっとご説明させていただいたところではございますが、この計画と、もう一つ、都市計画の審議会のほうでお諮りしています立地適正化計画、この3計画を本来密接に関係する計画として整合性を図りながら、一体

的に検討を進めているところでございます。

その中で、どうしても今後のスケジュール感というのが、先般議会質問等でもございましたように、やはり公共交通を取り巻く環境であったりとか、それぞれの計画の整合性などを図りながら進めていきたいというふうに思っているところでございますので、現時点で明確に今後のスケジュールというのがちょっと示しづらいところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 事情は分かりました。しかしながら、実際に西鉄の路線が変更になったり、または廃止になったりするという話がもう目前に迫っておりまして、もしくは本市の事業としてデマンド交通の実証実験を始めるとか、それこそ計画の前にいろいろな事業もしくは交通の情勢が変わっていく中で、なかなかこれってほっとけないような感じがするんですけどもね。その2つの情勢を受けまして、これ、早く計画を立てなきゃいけないというようなお気持ちはございます。

○委員長（陶山良尚委員） ちょっと若干決算質疑とは違うような気がするんですけどもね、そこまでいくとですね。回答できれば認めます。

都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 今委員おっしゃるとおり、現場としては計画は計画で当然進めるべきものとして、急ぎ対策が必要なもの、そういった施策については、計画の策定にこだわることなく、急ぎの施策というのは対応していきたいというふうに考えております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですね。

ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 少し、すみません、聞き漏らしました。地域交通対策費の中の14節の工事請負費が769万円ほどの不用額が出ていて、通常工事請負費となると、物価高騰とかで多くなるのは分かるんですけども、これだけの不用額が出ているということは、できなかった工事があったということなのか、ちょっと説明を入れていただけたら助かります。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） この760万円につきましては、交通安全の施設費及び駐車場関係費のこれは西鉄二日市駅東口の交番の造成地に係るもので、特に交通安全施設整備費につきまして、特に自治会あたりからの安全施設の要望とかがあるんですけども、その部分、ちょっと要望が予算を満たすことができなくて、こういうふうに残が出てしまっているということですので。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

船越委員、同じところ。戻って。

○委員（船越隆之委員） すみません、211ページの、ごめんなさい。

- 委員長（陶山良尚委員） じゃあ、河川のほうですかね。
- 委員（船越隆之委員） 211ページの003駐車場関係費の中の14工事請負費として臨時工事222万6,400円というのがありますが、これはどこの駐車場の件ですかね。
- 委員長（陶山良尚委員） 建設課長。
- 建設課長（齋藤実貴男） 先ほどもちょっと触れましたけれども、西鉄二日市駅前、東口ですね、あそこに駐輪場がございます。その一部を交番用地ということで県のほうに貸し出すための造成費用になります。
- 以上です。
- 委員長（陶山良尚委員） 船越委員。
- 委員（船越隆之委員） あれは、したらロータリーのところの右側の分ですかね。縄を張って砂利をしてあるところですか、引いてあるところですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 建設課長。
- 建設課長（齋藤実貴男） 現在更地というんですか、砂利を引いているところになります。
- （船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ）
- 委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。
- そしたら、また戻ります。
- 3項河川費、1目河川管理費について質疑はありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、4項都市計画費、1目都市計画総務費について質疑はありませんか。
- 堺委員。
- 委員（堺 剛委員） ページ数は215ページになります。細目004都市計画事務費の節の12委託料の中の大宰府政庁前駐車場の330万円なんですけれども、これ、あまり利用されてないと思っているんですが、令和5年度の実績をちょっと教えていただけたらと思います。
- 委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。
- 都市計画課長（古賀千年志） 政庁前駐車場の利用状況でございますが、令和5年度は延べ328台の利用、令和4年に比べますと108台増加している状況でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 堺委員。
- 委員（堺 剛委員） 金額ベースで幾らですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。
- 都市計画課長（古賀千年志） もともと駐車場自体が収益を上げるための施設という形での整備ではございませんで、どうしてもそういった収益的な計画の数字というのは持ち合わせてはございませんが、本来政庁前の利用の際に、大型バスだったりマイクロバスの止めるような場所がないというところ、また市にとっての回遊性の向上というところで、実際今委員のおっしゃるような数値目標という形で具体的な数字は持っていないところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） 採算性の話をしています。公益負担のところは分かりますが、そのあたりの今後の課題としていただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 今のに関連して。先日あそこ、入り口のところのポールのところ鉄柱のあれが壊れていましたよね。あの工事の費用に対しては、次のあれで出されるんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 委員おっしゃる機械設備のほうになるんですけども、これは管理の委託の中に入っておりますので、管理会社のほうに直していただいております。

（船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 213ページの004都市計画事務費の中に入っていたと思うんですけども、当初予算のときにバリアフリー基本方針検討協議会の予算があったんですけども、これが決算でゼロになって、項目がないんですけども、施策評価シートの中で、施策評価シート19ページの現状把握の(3)令和5年度の主な事業の取組のところに、6行目、バリアフリーの推進についてはというところで、バリアフリー基本方針の検討を行ったというふうにあるんですけども、これは基本方針の検討協議会はなかったけれども、これバリアフリー基本方針の検討を行ったというところ、そこら辺の説明をお願いします。進捗についてお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 今委員ご指摘のバリアフリー基本方針、都市計画のほうで当初計上させていただいておりましたのが、協議会の開催に関わる分の費用でございます。今ご指摘の評価シート19ページのほうのバリアフリーの推進に対しての基本方針の検討というのは、当然協議会自体の開催には至っておりませんが、内部的な協議ですね、そういったものは進めておりましたので、そういった評価でさせていただいております。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） これも都市計画を進めていくときに、そのバリアフリー化も含めて検討するという意味で、ここに検討協議会を立ち上げるという予算だったと思うんですけども、これについては、今年度ちょっと予算のことは分かりませんが、今後どういうふうな流れになっていくのかというところだけ教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 先ほどの木村委員のご質問にも少し関わる部分がございますが、今策定中でございます立地適正化計画とかほかの公共交通計画、総合交通計画と一体的に、市を今後持続可能なまちにしていく中で、バリアフリーの観点が必要になってまいります。そういった中で、具体的なエリアの設定であったり計画との整合を図りながら、協議会につい

ても開催のほうを必要なときにやっていきたいというふうには思っているところでございます。

- 委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、2目公園事業費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、3目下水道事業費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、4目土地開発費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、5項住宅費、1目住宅管理費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、9款消防費に入ります。  
1項消防費、1目常備消防費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、2目非常備消防費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、3目消防施設費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、4目災害対策費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、10款教育費に入ります。  
1項教育総務費、1目教育委員会費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、2目事務局費について質疑はありませんか。  
神武副委員長。
- 副委員長（神武 綾委員） 227ページ、004の不登校対策費、審査資料の請求をさせていただきました。不登校対策費、審査資料で23ページ、資料要求させていただきました。不登校児童・生徒数の推移をいつも出しているんですけども、平成30年を基礎数として何倍になっているかというような数字しか出てこないんですけども、これ、実数を出さない理由をもう一回教えていただいているんですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） こちらの実数を出さない理由についてなんですけれども、こちらについては全国的に調査されているものになりまして、太宰府市として実数を出すということが法律的にできないというふうに認識しております。

○委員長（陶山良尚委員） 教育部理事。

○教育部理事（八尋純次） 回答としては先ほどの課長と一緒にいるんですが、現在、不登校児童・生徒数調査、これが国が行っているものを使って本市も行っている状況です。その調査によりますと、国が出しているもの以上のものを公表しないようにというふうに決められておりまして、過去ずっと公表していないという現状がございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 近隣の市町村では、議会にやっぱり出しているところもあるんですが、それはもう市町村判断ということでよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 教育部理事。

○教育部理事（八尋純次） そちらは自治体がどうされているかはちょっとまだ把握はできておりませんが、国の調査をそのまま出しているとする、問題があるかと考えております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。今のこの資料の質疑になっとうけん。出していた資料に基づくかと思って。よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 3目人権教育費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目特別支援教育費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目幼稚園費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項小学校費、1目学校管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） ずっと行きますと、238ページ、2目教育振興費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3項中学校費、1目学校管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 242ページですね、2目教育振興費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項社会教育費、1目社会教育総務費について質疑はありませんか。

木村委員、どこですかね。

○委員（木村彰人委員） 245ページです。事務報告書のほうが58ページです。家庭教育学級等運営費の中で、これ、家庭教育学級の参加数等が書いてあるんですけども、学校ごとに、これかなり各学校ごとの学級生徒数が1桁とか2人とかというところがいっぱいありまして、なかなか昔のように、一昔みたいな形での家庭教育学級が運営できてない状況がちょっと推察されますけれども、この状況について、なぜこういうふうな形なのか、その状況、なぜこういうふうになっているのかをちょっとご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井本正彦） 現在、家庭教育学級の学級生が減っているというところでありまして、学校のほうにも働きかけはしているんですが、把握、分析までは至ってないんですけども、共働き世帯が増えているというところもあるのかなというふうには思っています。家庭教育学級自体が昼間の開催ということもございまして、そういったところがございまして、

なお、家庭教育学級を合同で現在は開催しているというような状況であります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そうだと思います。そこで、これを問題視したところで何かしら検討されていれば、例えばやり方を平日、日中とかじゃなくて、リモートとかいろいろな対策があると思うんですよね。そこら辺、今検討しているかどうかをお答えいただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井本正彦） 家庭教育学級の端的に申しますと、事前の申込みではなくて、広くこういった講座をやるからお試しでどうですかという投げかけを今やったり、あとちょっと夜間開催も検討はしてはいるんですが、まだそこまで実施までは至ってないというようなところなんです。あくまでも口コミで広げているというような状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に行きます。

2目青少年教育費について質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 247ページの002子ども会関係費ですね。事務報告書が59ページになりますね。子ども会のリーダー研修会が6月に行われ、2回目が10月ですね。かなり数が減っているんですね、2回目になると。これ、何かこだけ減った要因とかあるんなら教えていただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井本正彦）　ここは、コロナ禍でこのリーダー研修が実施できてなかったというのが大きな原因かなというふうには思っております。令和4年度はリーダー研修を10月はオンラインで行ったりはしていたんですが、リーダー研修自体が実施してもなかなか厳しいということで、今年度若干見直しを行っているところではございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員）　長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員）　子ども会の関係者に聞くと、こういうのが負担になって、例えば習い事があるのに、これに出ないといけないからとかとあって、子ども会でも、言い方は悪いけれども、習い事をしてない子、何にも予定がない子には結構無理強いして、参加させられるという言い方はちょっと悪いんですけども。習い事している子は、例えば練習があつたりとか試合があつたりするから、なかなか。6年生になるとなかなか、スタメン、レギュラーとかなつて、こっちの部分には参加できないということで、やっぱり負担が強られるという声も聞いていますので、何かそこら辺もうちょっと調査していただいて、果たして本当にこれが必要なのかどうかというところをもう一回、保護者の声とかもぜひとも聞いていただきたいと思いますので、改善点があればよろしくお願いします。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員）　ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員）　それでは、3目青少年対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員）　それでは、4目図書館費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員）　これは図書館費に入るのか、中央公民館管理運営費に入るのか、よく分からないんですが、中央公民館管理運営費は修繕とか結構入って、施設改修工事とか入っているんですけども、図書館のあの古さの中で、これ全然改修とかもなくてよかった感じだったのかなと思って聞いています。

○委員長（陶山良尚委員）　文化学習課長。

○文化学習課長（堀ノ内龍治）　図書館のほうでは特に修繕等は行っておりません。

○委員長（陶山良尚委員）　小島委員。

○委員（小島真由美委員）　調査とか検査とかはされているんですよね。ですよね。雨漏りとか壁とか、入った感じ、何か、ないならないでいいんですけども、本当にそれでよかった。いや、ゼロだから、公共施設でゼロなんてあまり、改修とかないところはあまりないからと思って、ちょっとお聞きしました。確認です。

○委員長（陶山良尚委員）　文化学習課長。

○文化学習課長（堀ノ内龍治）　中央公民館費の中で施設全体を修繕を行っておりますので。

- 委員長（陶山良尚委員） 小島委員。
- 委員（小島真由美委員） じゃあ、図書館の中とかも全部含めて、この中央公民館費の中に入っているということでいいんですね。
- 委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。
- 文化学習課長（堀ノ内龍治） そのとおりでございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。  
よろしいですかね。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、5目公民館費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、6目文化財整備費について質疑はありませんか。  
馬場委員。
- 委員（馬場礼子委員） 253ページの002の12、草刈りなどの委託料なんですけれども、すみません、前ご説明があったら申し訳ありません。年に何回で、何月というのは決まっているんでしょうか。
- 委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。
- 文化財課長（井上信正） 史跡地管理費の維持管理協力員、あと12節の史跡地管理業務委託料など複数草刈りの業務については行っておりますけれども、大体今、年3回から5回にかけて行っている状況があります。政庁跡などは5回、人が多いところは5回、少ないところは3回というような状況でございます。  
以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。  
（馬場礼子委員「ありがとうございます」と呼ぶ）
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 254、255ページの7目文化財活用費について質疑はありませんか。  
神武副委員長。
- 副委員長（神武 綾委員） 当初予算のときに文化財保存活用推進協議会を設置して、活用地域計画の進捗管理を行うというふうにあったんですけれども、この協議会運営自体、予算が22万2,000円だったのがなくなっているようなんですけれども、これは今どのような進み具合になっているのか、協議会をこれから立ち上げられるのか、その点お願いします。
- 委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。
- 文化財課長（井上信正） お答えいたします。  
文化財保存活用推進協議会というのを令和5年度に委員会の規則をつくらせていただいたんですけれども、実際これの協議会が関わります文化財保存活用地域計画というのが令和4年度

の半ばに文化庁の認定を受けました。半ばであったということもございましたので、令和4年度、令和5年度に実施した事業をまとめて計画の進捗を評価することになりましたので、令和5年度は協議会の設置を見送りまして、進捗状況の確認や取りまとめを行う年度としまして、協議会は令和6年度に設置することにしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 255ページ、文化財施設管理運営費に関して、太宰府館と水城館と文化ふれあい館、事務報告書が61ページです。こちらのほうに令和5年度の館の利用者状況が分かるんですが、令和5年度に対して、コロナ前が平成30年度だと思いますので、平成30年度比で令和5年、これこの利用者数、回復しているのかどうかを確認したいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） 利用者状況の開示ということでよろしいでしょうか。すみません、もう一度お願いできればと。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 令和5年度の利用者の人数は分かります。それに対してコロナ前の数字、これは平成30年度が一番指標としては比べやすいと思うんですけども、それに対してこの利用者人数が回復しているのか、もしくはまだそれに達していないのかというところでいいです。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） 利用者に関しては、文化ふれあい館については平成30年度が2万8,000人ほどありましたけれども、令和5年度が1万8,000人となっております。展示館につきましては、1万2,000人ほどだったのが、今1万6,000人ほどに増えております。水城館につきましては、1万2,000人ほどだったものが8,000人ほどになっております。

大宰府展示館などは人が増えている状況がございますけれども、文化ふれあい館などにつきましては貸室の利用が、どうしても高齢者の方もいらっしゃるということで、コロナ後も人数の制限などもしているという状況がございましたので、多少人数が減っているところもそういった原因があろうかと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 最後です。その中で大宰府展示館のほうがここだけ有料だったと思うんですけども、この令和5年度の利用料というんですか、年間利用料は幾らか教えていただきたいと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） 令和5年度の入館料につきましては、合計で138万3,500円となっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） すみません、どこかで示してあったら申し訳ないんですけども、255ページ、003大宰府関連史跡整備事業の12委託料のデザイン委託料なんですけれども、こちらは例えばタビットとかああいうようなデザインというイメージでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 戻ったわけですね。今は大宰府関連史跡整備事業費のほうですかね。その辺ですね、6目の。

文化財課長。

○文化財課長（井上信正） お答えします。

これにつきましては、日本遺産の解説板など、そういったデザインの委託料になっております。これは日本遺産の福岡県が代表になっている協議会とか関係団体とも調整するということがございます、それまで文化財の職員で板面をレイアウトしたりとかしておりましたけれども、なかなか時間的な余裕とか内容についてできないところがございますので、この部分をデザイン委託料として出させていただきます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、7目についてはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、8目ですね、文化財調査費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、260、261ページですね、5項保健体育費、1目保健体育総務費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） スポーツ推進費で下の12節委託料で、地域における運動習慣定着促進事業委託料、これはサマーナイトペタンクのことでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（橋川史典） ケアランポリンのことになります。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 事業回数とか、どこで行ったとか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（橋川史典） 場所は総合体育館のほうで行っております。令和5年度は107人の

方、96教室に参加していただいております。

以上でございます。

(橋本 健委員「ありがとうございます」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) 長谷川委員。

○委員(長谷川公成委員) 263ページの全国大会出場補助金178万円とあるんですけども、これ、何名の選手が全国大会に出場されたのか教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) スポーツ課長。

○スポーツ課長(橋川史典) すみません、選手の人数は今手持ちでありませんが、随行のコーチの方とか親御さんとかを含めまして89名の方の補助になります。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目施設管理運営費について質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員(長谷川公成委員) 史跡水辺公園ですね、市民プールなんですけれども、すみません、僕ちょっと勘違いしとって、今年度から市内者と市外者の金額を分けるんですね。だから、要するに市外者が倍になるということで。それで、その周知ですね。いろいろ詳しいことを聞こうと思ったんですけども、もうこれは来年度になりますので聞きませんが、この周知ですね、市外者の方は料金が倍になりますというふうなことは、ずっともう令和5年度からされていたんでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) スポーツ課長。

○スポーツ課長(橋川史典) 周知につきましては、市のホームページと水辺公園のシンコーさんのほうのホームページのほうで通知をしておるところでございます。

○委員長(陶山良尚委員) 長谷川委員。

○委員(長谷川公成委員) 今年の夏から始まったと思うんですけども、まだそういった結果の意見はいろいろ聞いてないんですけども、トラブルとかがなかったらよかったかなと思っていますので、やっぱり周知は徹底しておかないと、市外者の方も来ていただいて混乱されると困るから、何で自分たちは急に倍なんだというふうに。いろいろあるから、また来年度この質問したいと思いますので、よろしくお願いします。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) そしたら、264、265ページですね、11款災害復旧費、1項文教施設災害復旧費、1目文化財施設災害復旧費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2項農林水産業施設災害復旧費、1目農業用施設災害復旧

費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目林業施設災害復旧費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3項公共土木施設災害復旧費、1目道路橋梁災害復旧費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) では、2目河川災害復旧費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) そうしましたら、4項その他公共施設・公用施設災害復旧費ですね、1目から4目まで質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、12款公債費、1項公債費、1目元金、2目利子、そこまでですね、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) そしたら、268、269ページですね、14款予備費、1項1目予備費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、歳出全般についての質疑を行いまして、歳出の審査を終わりたいと思います。

観光推進課長。

○観光推進課長(西山英毅) 先ほど回答できませんでした件をご回答いたします。

観光費のところになります。199ページの12節、委託料の不用額758万7,000円の内訳ということで小島委員からご質問いただいております。これは、主に201ページの003の観光施設整備費が主な不用額になっておりまして、外国人観光客対策343万円、交通誘導業務で216万円、駐車場警備で116万円、それぞれ不用額が発生しておりまして、原因といたしましては、コロナ回復を見据えておりまして、一定程度これらの費用を見込んでおったものの、結果として中国人の方々のクルーズ船の戻りの遅れですとか、あと年末年始の天候不良もございました。あとは、分散参拝の傾向とか、そういったところを総合的に踏まえて、事業者の方々と協議を行いまして柔軟に対応した結果、不用額が発生したということでございます。

もう一点が、馬場委員からいただいております太宰府館のまほろばホールの利用に関してでございますが、令和5年度は回数にして154回、利用者の方々にしまして1万553人ございました。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいでしょうか。

それでは、質疑漏れはありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 決算審査資料でいただいていた2ページの職員手当についてなんですけれども、職員の時間外勤務手当がずっと気になっていたので、今回ほかの手当も含めて出していただいたんですけれども、款ごとに分けて出していただいています。

これ款ごとなので、課ごとではないので、ちょっと分かりづらかったかなと思っているんですけれども、時間外勤務手当の欄を見たところ、総務費のところは8,000万円ですと断トツに多いというのが見てとれるんですけれども、これは職員数が何人かということも1つ教えていただきたいというのと、別表2で令和元年度から令和5年度までの時間外勤務手当5年間の推移を出していただいているんですけれども、途中コロナ禍も令和3年度あたりとかということも2億円になったりとかということがあって、少し令和4年、令和5年と減ってはいますけれども、令和5年度でまたちょっと増えたというところで、給与改定もあったかと思えますけれども、これ業務改善が何かしら進んでいるのか、そのところを少し聞かせていただけないでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 2ページの時間外の欄でございます。総務費が約8,000万円ということでご指摘がございまして、対象といたしましては、総務部でありますとか、あと税務課、市民課等が対象となっております。割合といたしまして、約3割弱の人数がこの費目の対象となっておりますのでございます。

それから、業務改善というところがございますけれども、時間外がコロナ禍以降なかなか減ってないということもございますけれども、総務課といたしまして、適正な人員配置には努めておるところでございますけれども、それと併せまして、定時退庁の呼びかけでありますとかそういったところを行いまして、また業務改善についても取り組んでまいりたいと考えておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、歳入に入ります。

30ページ、1款市税から入ります。

それでは、1款市税について質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 事務報告書の4ページも重ねて見ていただきたいんですけれども、1款4項1目の市たばこ税なんですけれども、これ去年に比べて7,000万円も上がっているんですね。喫煙者は減ってきょうというふうな話なのに、何でこのたばこ税が上がっている。例え

ばコンビニでたばこを買ったら、それが市税になって入ってきているのかなというふうに思いますけれども、何かこれ、要因みたいなのは市のほうで把握していますか。してなければ、もうそれで結構なんですけれども、ご答弁あればお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 税務課長。

○税務課長（田代 浩） 今おっしゃるように喫煙率等も下がっておりますので、本来下がってくるのかもしれないですけれども、おっしゃるように太宰府市でたばこを購入されるとその分入ってくるという形になりますので、観光客の増とかそういったところが要因かと考えております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 31ページの固定資産税についてお伺いします。事務報告書のほうが25ページです。その中で固定資産税、すごく上がっているんですけれども、この上がった理由なんですけれども、これ見ますと、納税義務者も増えておりますが、そのほかの要因として土地の評価とかもあつたかと思われまので、この固定資産税の税額が上がった原因をご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 税務課長。

○税務課長（田代 浩） まず、家屋の新築家屋が増えているというところが、まず1つ要因があるかと思えます。それと、おっしゃるように地価のほうも年々上がっておりますので、その分の影響ということもあると考えております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2款地方譲与税について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3款利子割交付金、4款配当割交付金について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、まとめていきます。5款の株式等譲渡所得割交付金から10款の地方特例交付金まで質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、11款地方交付税から13款分担金及び負担金まで質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、14款使用料及び手数料について質疑はありますか。これはずっと行って46ページまでですね。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、15款国庫支出金について質疑はありませんか。  
よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) では、58、59ページですね、16款県支出金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、70ページ、71ページですね、17款財産収入について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、次のページ、18款寄附金、19款繰入金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、20款繰越金、21款諸収入について質疑はありませんか。  
笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) 77ページの雑入のところですけども、雑入なのでいろいろあろうかとは思いますが、ここだけ不納欠損とか収入未済額というのが結構な割合であるので、大まかにどういうことなのか説明していただければと思います。

○委員長(陶山良尚委員) 経営企画課長。

○経営企画課長(宮原 竜) こちら雑入の不納欠損と収入未済についてですが、主に生活保護の返還金に関するものでございます。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、22款市債について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、歳入全般についての質疑を行いまして、歳入の審査を終わりたいと思います。

質疑漏れはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、歳入歳出全般についての質疑を終わりにして、270ページ、実質収支に関する調書に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 次に、383ページ、財産に関する調書に入ります。

384ページから407ページまでについて質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 386ページのこの緑地の土地の地積が減っているところは大佐野、これはちょっと説明を入れてもらおうと助かります、緑地が減っているの。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 緑地と緑地保全の関係。これが産業振興課でしている緑地買取り事業の分になるんですが、大きく緑地のほうが……。

○委員長（陶山良尚委員） マイクをいいですかね、ちょっと聞き取りにくいので。

○管財課長（堀 修一郎） 緑地のほうが大きく5万322㎡減っている分は、昨年、本来緑地保全で計上するべきものを緑地で計上していたため、ここを変更しております。

（小島真由美委員「ごめんなさい、もう一回いいですか。すみません、もう一回」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 緑地に関して5万322㎡減っている分に関しましては、本来、下のほうの緑地保全地で計上するべきだった7万6,897㎡に計上すべきところを誤っておりましたので、今回組替えを行っております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） それはちょっと説明を入れてもらわないといけないですね、分かりませんね、やっぱり。

○委員長（陶山良尚委員） ほかによろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） これで質疑を終わります。

それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 事務報告書の決算の概要からなんですけれども、9ページに財政力指数というのが載っていて、10ページに経常収支比率というのが載っていますけれども、今年の資料から、ふるさと納税を含めた部分というのが入っているんですよね。決算の概要って、レイアウトは違っても、基本的にどこの自治体でも同じ内容で出ているかと思うので、最初の質問ですけれども、このふるさと納税を含めた場合というのが入ったのは、総務省なり何なりが方針を転換してこういうのを載せてくださいというような形になったのかどうか、そこをお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） そういったことではございません。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） そうすると、これによって、その前に1つ聞こうか。ふるさと納税を含めた場合ということですが、経常収支比率とかそういうのを計算するときに、入ってきた分と出てきた分との関係ということになると思うので、ふるさと納税でいただいた分と、あと必要なので出ていった分と、あと太宰府市民がよそに払った分とかいろいろな要素が絡んでくるとは思いますけれども、その辺をどのように処理してこの数値を計算しているのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） こちらにお示ししておりますとおり、ふるさと納税関連の収入と、あと経費を加味したところでお示ししているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 確認ですが、ということは、太宰府市民が払ったりした分というのは考慮されていないということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） お見込みのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） その上で、この資料を出した意味なんですけれども、太宰府市独自ということなので、何かしら説明意図というか、統計として示す必要性というか、あったかと思うんですけど、今回これを加えた事情といいますか、目的をお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 目的といいますか、お示ししている趣旨でございますが、やはりこちらの事務報告書といいますのは、ホームページでも市民の方にも公開しておりまして、また広報等での決算の概要でもこういったものを含めたものもこれまでもお示ししてきているところもございます。やはり一定、市民の方にも財政が健全であるということを示していくという、そのあたりの趣旨からこれを入れた形で、これが計算に入らないものですから、これを入れたらこうなりますよということで、今のふるさと納税の好調ということで、好材料としてお示ししたいなというところに表示しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 私見は述べずにおきますけれども、ただ統計資料として広く日本中の人に見られる場合があるかと思うので、先ほどの計算の仕方がどういう財政学上というか統計学上というか、どういう意味を持ち得るのかということは、はっきりと説明できるようにしておいていただきたいなと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） ちょっと関連するんですけど、同じくこれ、事務報告書の9ページ

と10ページなんですけど、私がちょっと見ているのは、これグラフに示してあるとおり、類似団体と本市の関係、赤と緑の折れ線ですよ。これをずっと見ているんですけども、財政力指数については、本市の財政的な財政基盤的な体質で、なかなか類似団体並みになるのは難しいというのは、この説明で理解しました。

10ページのほうなんですけれども、これ経常収支比率のほうが、以前は類似団体よりもよかったですよね。よかったものが、令和元年から逆転してまして、類似団体よりも厳しくなっているのが5年間続いているんですけども、これ、転換点って、何かうちの財政的なものが変わったのか、分析してあればお答えいただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 類似団体といいますのが、10万人までの人口規模の団体になりますので、そのあたりのところも少し比較する中で影響しているのかなと思っております。

それから、やはり令和5年度につきましては、恐らくですが、本市以外の団体についても、経常収支比率はやはり少し上がってきているんじゃないかなというふうな分析はしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 人口10万人までの団体ということで、人口10万人規模のほうが、この財政的な経常収支比率で見ると有利という話で理解してよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 人口のもともと20万人だったところが10万人に減っているとか、増えて10万人になったとか、いろいろあると思いますが、この類似団体については、産業構造と人口と、ここでの分類になります。大まかな分類になります。一概には言えないと思いますが、勢いのある都市であれば、やっぱり増えつつある、人口が伸びている自治体のほうが余力はあるというのが一般的なところかと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 以上で質疑を終わります。

これから委員間で意見交換を行います。

ご意見はありませんか。

笠利委員。討論じゃないですよ。

○委員（笠利 毅委員） 要は自由意見ということですね。

○委員長（陶山良尚委員） そうです。

○委員（笠利 毅委員） 認定の可否を考える前に、ちょっとほかの方の意見をお聞きしたいんで

すけれども、そのためにはやり取りをどう評価するかということがあるので、ちょっと疑問に思ったところがあったので、ほかの方の意見を聞きたいんです。

先ほど木村委員が、立地適正化計画ではなくて、総合交通計画とか3つの計画について質問されて、今後のこと、どういうふうにとということで、ちょっと止まるような感じになりましたけれども、予算説明では立地適正化計画等は策定するというような書き方をしてあったんですね、令和5年度。ので、予算を認めた議会としては、策定すると言ったものがその年度できなかったのは何らかの事情があったとしても、翌年の段階でどうするかというのについては明確な答えを求めるといってもごく自然だと思うので、私は木村委員の質問は答えられてしかるべき内容だったというふうに理解しています。そこが聞けなかったので、その点、ほかの委員さんたちがどのように理解しているかというのをちょっと尋ねておきたいなと思ひまして、認定可否の判断の参考にしたいと思います。

**○委員長（陶山良尚委員）** それについては、ここはあくまでも決算に対するもので、その問いに関してここで意見交換をする内容かなと今ちょっと思ったんですけれども、皆さんいかがですかね、その辺は。

木村委員。

**○委員（木村彰人委員）** 決算認定というところで、要するに執行だけじゃなくて、できたかできてなかったかというのは非常に私、重要視してしまっていて、これ一緒に資料としてもらっている施策評価、今回あえて施策評価を見ながら質問させていただいたところがあるんですが、これ、達成できてないものが結構普通に数字で上がってきているんですよね。これ自体が果たしていいものかどうか、非常に心配です。逆に普通にできませんでしたと、理由についても特に非常に弱い理由があったりしてですね。

それともう一つは、その書きぶりなんですけれども、この成果指標に対する書きぶりが、いろいろお伺いしましたけれども、非常にこれ、自己分析になるので、ある意味、手前みそになりがちでありますけれども、これホームページに公開されるわけなんですよね。そこを考えると、この令和5年度の何でこの数字が出たのかという理由については、何かしらしっかりした一定レベルの信憑性というのにしっかり基づいたところを出さなきゃいけない、逆にそれがちょっと疑問があるような記述が私は見受けられたんですけれども、どうでしょうかね、皆さん。

**○委員長（陶山良尚委員）** 皆さん、何か意見ありますか。

なければ、あくまでもここはもう意見交換というか、それぞれ皆さんの意見なので。

神武副委員長。

**○副委員長（神武 綾委員）** 笠利委員は計画のことについておっしゃいましたけれども、計画を立てる、それから進捗を管理するとかそういうことも含めて、協議会を立ち上げますとか、予算のときにはそういうふうな説明をして予算を上げて、私たちが承認をしているわけですがけれども、説明を受けているんですけれども、それが実際に時間的にも難しかったとか、かなわな

かったとかというようなことは説明としてももちろん伺っていますけれども、それが計画と一緒に、なぜできなかったのかということ、予算を立てたけれどもゼロになったとか、そういうのはきちんと、このやり取りじゃなくて、文書としてあったほうがいいのではないかなというふうなのを感じました。ちょっと今の話と絡まるかどうか分かりませんが、意見として。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはございませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、これで意見交換を終わります。

討論を行います。

討論はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 一応賛成ということで討論をいたします。

先ほどあいうことを言ったので、賛成理由を述べますけれども、あまり賛成理由を述べたことがないで。予算と、対する決算を見比べて審査に臨むようにして、ほかの委員さんの質疑もそのようなつもりでなるべく聞いていました。それについてどう思ったかについては言いませんけれども、これは学んだことですが、一般に認定に反対する場合、否決する場合は、かつては市長が信用できないというような理由が多かったそうです。最近、この事業は納得がいかない、ちゃんとできていないという理由で、ほぼ別々の理由、一つ一つの個別の理由で反対するということが増えているそうです。

それを踏まえて言いますが、今回賛成としますが、一応説明は、我々が認めた予算に対してこうこう、こうだという説明がなされた。数字的なことについては、監査の目も入っているので大丈夫であろうということで、認定することについては賛成と述べておきます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第1号「令和5年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を認定することに賛成の方は挙手願います。

（多数挙手）

○委員長（陶山良尚委員） 多数挙手です。

よって、認定第1号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成15名、反対1名 午後3時52分〉

○委員長（陶山良尚委員） 以上、本会議において報告をいたします。

以上で決算特別委員会に付託されました認定第1号の審査は終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員）　　ここでお諮りします。

本会議における決算特別委員会の審査報告は、当委員会が全議員で構成され、具体的な審査内容については後日会議録が作成されることから、要約報告とし、内容につきましては委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員）　　異議なしと認め、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員）　　これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。

閉会　午後3時53分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

令和6年11月14日

太宰府市決算特別委員会委員長 陶山良尚